

第4次計画の施策の検証結果

【以下の個表における凡例】

評価指標

【第4次計画】 第4次総合計画 成果指標

【総合戦略】 総合戦略KPI（重要業績指標）

達成状況

- A 達成できた
- B やや達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

できていない理由

- 1 時間の不足
- 2 人材の不足
- 3 場所的な問題
- 4 資金的理由
- 5 地域のつながり
- 6 その他

方向性

- ◎：有効事業であり成果向上のため継続とする。
- △：他にも有効な施策があり継続を検討する。
- ×：目的が果せないため事業の必要性は低い。

平成30年8月

豊 郷 町

第4次豊郷町総合計画 施策一覧

基本目標(大)	基本目標 (小区分)	主要施策
1 安全・快適な暮らしをつくろう	1 居住環境の整備	(1)住宅マスタープランの策定
		(2)公営住宅の整備
		(3)住み良い住居環境づくりの推進
		(4)上水道配水施設の耐震化を含めた整備
		(5)全町水洗化の促進
	2 地域環境の整備	(1)公園・緑地等の整備・改良の推進
		(2)緑化の推進
		(3)維持・管理体制の充実
		(4)豊郷町固有の良好なふるさと景観づくりの促進
	3 防災対策・救急対策の充実	(1)豊郷町地域防災計画の見直しと計画内容の普及啓発
		(2)自主防災組織の育成と災害に強いまちづくりの推進
		(3)治水事業等の推進
		(4)消防・防災体制の充実
		(5)救急・救命及び危機管理体制の充実
	4 地域安全対策の充実	(1)交通安全施設の整備拡充
		(2)交通安全意識の高揚
(3)防犯対策の充実・強化		
(4)消費者保護の推進		
2 豊かに育つ暮らしをつくろう	1 子育ての環境づくり	(1)子育てしやすいまちづくり
		(2)保育所機能の拡充
		(3)ひとり親家庭への支援の充実
		(4)幼児教育の充実
	2 子どもの教育環境の充実	(1)教育施設・設備の整備充実
		(2)教育内容・指導法の改善・充実
		(3)食育の推進と生活習慣の確立
		(4)特別支援教育の充実
		(5)開かれた学校づくり
		(6)青少年の健全育成
	3 地域における学習環境の充実	(1)生涯学習推進体制の整備・充実
		(2)生涯学習機会の拡充と学習活動の促進
		(3)生涯学習拠点の整備・充実
	4 まちの文化の保全と育成	(1)魅力的な文化ホール事業の創出
		(2)文化・芸術団体育成と指導者の確保
		(3)広報・情報サービスの充実
		(4)文化遺産の保護・保存と活用の推進
		(5)郷土の歴史と生活文化に親しむ活動の推進

基本目標(大)	基本目標 (小区分)	主要施策	
3 いきいき安心の暮らしをつくろう	1 健康づくりと介護予防の推進	(1)健康づくりの基盤整備	
		(2)健康づくり意識の啓発	
		(3)生活習慣病予防の推進	
		(4)母子保健事業等の推進	
		(5)栄養改善事業の推進	
		(6)歯科保健事業の推進	
		(7)精神保健事業の推進	
		(8)感染症対策の推進	
		(9)介護予防の推進	
		(10)健康管理情報システムの整備	
		(11)生涯スポーツの推進と指導者等の育成	
		(12)スポーツ・レクリエーション施設の整備充実	
	2 医療・介護の基盤整備	(1)医療体制の充実	
		(2)介護保険の円滑な運営	
		(3)地域包括ケアシステムの構築	
	3 地域福祉の推進	(1)地域福祉推進体制の整備	
		(2)地域福祉意識の向上	
		(3)地域福祉団体や人材の育成とネットワーク	
		(4)地域福祉活動の促進	
		(5)人にやさしい環境整備	
(6)低所得者福祉の充実			
4 高齢者福祉の充実	(1)高齢者が安心して暮らせる高齢者福祉の充実		
	(2)高齢者の社会参加の促進		
5 障害者福祉の充実	(1)障害者の理解促進		
	(2)情報提供・相談体制の整備		
	(3)地域支援体制の整備		
	(4)療育・教育の充実		
	(5)保健・医療・福祉の充実		
	(6)就労・雇用の促進		
4 互いにつながる地域社会をつくろう	1 コミュニティの充実	(1)自主的・主体的な集落活動に対する助成制度の確立と自治会の再編	
		(2)活動拠点の充実	
	2 協働・参加の推進	(1)全町ボランティアネットワークの形成	
		(2)ボランティアの育成と活動の普及	
		(3)企業施設の地域開放と従業員の地域活動への参加促進	
	3 共生のまちづくり	(1)男女共同参画意識の啓発	
		(2)男女共同参画の推進	
		(3)人権意識の啓発・相談活動の推進	
		(4)人権教育の推進	
		(5)平和意識の啓発活動の推進	
		(6)国際理解と交流活動の推進	
		(7)外国人が生活しやすい地域環境の整備	
	5 まちを支える産業を築こう	1 農業の振興	(1)農業経営基盤強化の促進と認定農業者や集落営農組織への支援の強化
			(2)高収益作目・作型の導入・推進
			(3)農業生産基盤の整備
2 地域産業の振興		(1)既存産業の育成	
		(2)商業の振興	
		(3)観光振興方針の確立と観光拠点の整備促進	
		(4)多様な観光資源の活用	
		(5)広域観光推進体制の強化	
3 新産業の創出と雇用対策の充実		(1)企業誘致の推進	
		(2)雇用の安定	

基本目標(大)	基本目標 (小区分)	主要施策
6 まちを支える基盤を築こう	1 計画的な土地利用の推進	(1)土地利用計画の策定
		(2)調和のとれた土地利用への誘導
		(3)国土調査の促進
	2 道路交通網の整備	(1)全町的な道路整備計画の策定と計画的な整備推進
		(2)幹線道路の整備
		(3)生活道路の整備推進
		(4)公共交通の利便性の向上
	3 情報通信基盤の整備	(1)地域情報化の推進
		(2)情報化に対応した教育などの推進
7 未来のための環境をまもろう	1 環境保全の推進	(1)環境基本計画(仮称)の策定と推進
		(2)自然環境保全活動の充実
		(3)環境美化意識の高揚と町民運動への支援強化
		(4)公害防止策の強化
	2 循環型社会の形成	(1)ごみの適正処理の推進
		(2)ごみの減量化、再資源化の推進
		(3)し尿適正処理の推進
		(4)地球温暖化防止対策の推進
8 計画推進のために	1 情報公開と住民参画の推進	(1)情報公開の推進
		(2)広報広聴活動の充実
		(3)多様な住民参画の場づくり
	2 効率的で健全な行財政運営の推進	(1)社会情勢や行政ニーズの変化に対応できる組織の運営
		(2)地方分権化に対応できる人材の育成
		(3)効率的な行政運営の推進
		(4)健全な財政運営の推進
		(5)町有財産の適正な管理運営
	3 広域連携の推進	(1)広域行政の推進
		(2)広域的対応の推進

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

1 居住環境の整備

Plan								
(1) 住宅マスタープランの策定								
取組の概要		* 本町の土地利用計画を見直す中で、それとの整合を図りながら、住宅政策の基本となる住宅マスタープランの策定を図ります。						
担当課		人権政策課ほか						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
	人権政策課	【第4次計画】 住宅マスタープラン の策定	—	—	未	無	町が管理する公営住宅、改良住宅を基本に地域の状況、社会の情勢を踏まえ、町営住宅のマスタープランの作成が必要である。まず、改良住宅譲渡事業の取り組みを進め、その後、マスタープランの作成を考えていたが、現在も譲渡事業を進行中で、見通しがたっていない状況であり、マスタープランの作成まで到達できなかった。	
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		人権政策課	C	6	町営住宅事業の進捗状況	町営住宅事業の見通しをつけ、現在の状況でマスタープランを作成する。		
Action	方向性	人権政策課	◎	平成29年度長寿命化計画の中で作成を考えていたが、補助対象外となった。プラン作成に向けて予算等も考慮し、再度の検討が必要となった。				

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

1 居住環境の整備

(2) 公営住宅の整備						
Plan	取組の概要		<p>* 「豊郷町公営住宅ストック総合活用計画」に基づいた計画的な修繕・維持管理を図ります。特に簡易2階建公営住宅については、個別改善の状況と耐用年数に応じて建て替えの必要性について検討を進めます。</p> <p>* 改良住宅については、譲渡許可基準の一層緩和について国への要請に努めるとともに、入居者への早期譲渡に向けた取り組みを進めます。</p> <p>* バリアフリー化など高齢者や障害者に優しく安全な住宅整備を推進します。</p>			
	担当課		人権政策課			
Do	課名	取組内容				
	実績 人権政策課	<p>公営住宅は昭和50年頃に建設された住宅もあり、建て替え、また、公営住宅全体では入居者の高齢化がすすむためバリアフリー化等も含む、住宅整備の推進が必要である。しかしながら、マスタープラン作成等、計画の見直し変更は進んでいない。町全体としては、まず、改良住宅譲渡の推進が必要と考え、譲渡推進を進め多数の譲渡を進めている。</p>				
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		人権政策課	C	6	町営住宅事業の進捗状況	改良住宅譲渡事業の見通しがついた地点で、改良・公営住宅全体で計画の見直しをする。
Action	方向性	人権政策課	◎	<p>改良住宅譲渡事業が進行しており、全戸譲渡を目指しているが、一定の期間・進捗で状況を見定め、改良・公営住宅全体での計画の見直しをかけなければ計画自体が出来ず、事業全体に影響を及ぼす。状況を踏まえ、一定のライン（期間、目処）で計画の変更を出すことが全体の事業を進めるうえで必要と考える。</p>		

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

1 居住環境の整備

(3) 住み良い住居環境づくりの推進						
Plan	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> * 民間の新たな住宅地整備等に際しては、開発にあたっての適切な指導・誘導に努めます。 * 空き家などを活用し、若年層や都市部の団塊の世代を対象とした田舎定住の促進を図ります。 * 関係団体との連携などによって、自然災害に備えた住宅の判定や被災度区分判定及び耐震改修支援等に取り組み、住民にとって安心できる住環境の整備に努めます。 				
	担当課	企画振興課 地域整備課				
Do	実績	課名	取組内容			
		企画振興課	<p>とよさと改蔵プロジェクトによる改修活用が平成29年度累積で12件ある。平成28年度から地方創生推進交付金事業で空家で子育て・インバウンド事業として民泊活用を図っている。</p> <p>平成29年12月15日から豊郷町空き家・空き地情報バンクを実施。 町内にある空き家・空き地を有効活用するために、「売りたい」「貸したい」と所有者が希望されている空き家や空き地をバンクに登録し、豊郷町への移住、定住希望者に情報を提供する制度。町内の空き家・空き地を有効活用しによって、定住や移住を促進、地域の活性化を図る。</p>			
	地域整備課	昭和56年5月31日以前の木造住宅を対象に木造住宅耐震診断員を派遣し、所有者に耐震改修補強案を作成し、提示している。平成29年度2件。				
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		企画振興課	B	—	要綱の制定や公益財団法人滋賀県宅地建物取引業協会との協定による協力体制の構築など、制度面については整備したものの日が浅く、今後に期待。	
		地域整備課	A	—	木造住宅耐震診断員派遣事業、木造住宅耐震改修補強案作成事業を実施した所有者に診断結果を提示することにより災害への対策が講ずることができた。	
Action	方向性	企画振興課	◎	今後は運用面について、「どれだけの件数の登録があるか」「どれだけの人が移住、定住のためバンクを活用するか」が課題。制度を活かし、定住や移住を促進、地域の活性化につなげたい。		
		地域整備課	◎	木造住宅耐震診断員派遣事業、木造住宅耐震改修補強案作成事業が総合計画には記載されていない。また、この事業の2件が妥当なのか検証が必要。		

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

1 居住環境の整備

		(4) 上水道配水施設の耐震化を含めた整備				
Plan	取組の概要	* 大規模災害にも対応する耐震性の高い配水管の整備を進めるため、耐震化計画の策定を図ります。 * 計画的な浄・配水施設の整備・改善を進めるとともに、上水道事業への速やかな移行を図るため、施設整備計画の策定を図ります。				
	担当課	上下水道課				
Do	実績	課名	取組内容			
		上下水道課	平成23年度～平成28年度の老朽管更新工事において旧北部簡易水道エリア(石畑・四十九院・安食西・安食南・八目)を耐震管に更新した。平成29年度の耐震化率は11.2%。 平成30年度において、浄水場の耐震診断並びに管路耐震化・更新計画の作成予定。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		上下水道課	A	—	一部地域で耐震化でき、平成30年度において浄水場の耐震診断並びに管路耐震化・更新計画の作成予定であるため、評価できる。	
Action	方向性	上下水道課	◎	耐震化に係る費用の確保が問題となる。		

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

1 居住環境の整備

(5) 全町水洗化の促進								
Plan	取組の概要		* 水洗化の一層の普及を図るため、啓発に努めます。 * 集中豪雨等による水害を未然に防止できるよう、雨水排水整備計画の見直しと、下水道の雨水基本計画・汚水基本計画の再評価を進めます。					
	担当課		上下水道課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		上下水道課	【第4次計画】 水洗化率の向上	80.2	87.2	89.1	%	広報による水洗化の啓発。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		上下水道課	A	—	年々水洗化率が向上しており、H29末にはH30年度目標値89.00%を上回ることができ、効果があったと評価できる。			
Action	方向性	上下水道課	◎	水洗化の一層の普及を図るため、啓発が必要となる。				

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

2 地域環境の整備

		(1) 公園・緑地等の整備・改良の推進				
Plan	取組の概要	* 安全で快適な遊び場、憩いの場を提供するため、公園・緑地における設備の定期的な点検と、適切な改修・整備に努めます。 * 豊栄のさとについては、芝生の園地としての特徴のある機能整備を図り、一層の活用促進に努めます。				
	担当課	企画振興課 社会教育課				
Do	実績	課名	取組内容			
		企画振興課	企画振興課で管理している八目中心市街地公園は豊郷町シルバー人材センターに、高野瀬池公園は自治会に清掃等作業管理を委託しており、改修・整備等については、委託者からの報告により適宜実施。			
		社会教育課	遊具の安全性の確認のため、毎年定期的に点検を実施している。豊栄のさと：年2回、豊郷スポーツ公園：年1～2回。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		企画振興課	B	—	管理・改修・整備については適切になされており、現状、地域住民が利用する公園として、危険性はなく、快適に利用できるものと考えている。しかし、どれだけの方が現状利用しているかは不透明。また、近年はトイレの備品が壊されていたりと、上下水道料金が通常では考えられないほど高額になっていたりと問題を抱えている。1日中管理することも難しいので、利用が増え、地域住民の目も行きとどけば、これらの問題も解決すると考える。	
		社会教育課	A	—	豊栄のさとでは、遊具の点検や芝刈りの委託を行い、環境整備に努めている。豊郷スポーツ公園については年1～2回業者による点検と、指定管理者であるアザックとよさとが毎日点検を行っている。豊栄のさと芝生広場は、オータムフェスティバルや通学合宿など行事の中でも利用している。	
Action	方向性	企画振興課	◎			
		社会教育課	◎	現状で豊栄のさとの芝生広場は、年何回かの行事での利用以外はさとの利用者が帰りに利用されることが多い。遊ぶだけの目的で利用促進するためには遊具の増設等の整備が必要であり、町全体の計画として今後どう利用促進していくのか検討する必要がある。少子化が今後さらに進み利用者が減ることが予想されるが、町内には総合遊具のある豊郷スポーツ公園をはじめ児童公園も多いため、町全体の方向性としてすべての公園・緑地を整備し、活用を促進する必要があるのかを検討する必要がある。		

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

2 地域環境の整備

		(2) 緑化の推進				
Plan	取組の概要	* 緑化ボランティア組織の育成など、緑化推進のための仕組みづくりを進めます。 * 地域住民による花づくりや緑化活動を促進するとともに、花と緑に関する学習機会の開催や情報提供を図ります。 * 道路や学校をはじめ各種公共施設の緑化を進めるとともに、緑化樹木の適正管理に努めます。				
	担当課	産業振興課 社会教育課				
Do	実績	課名	取組内容			
		産業振興課	「緑の募金」生活環境の緑づくり事業で、希望する字等に毎年3月頃緑化苗木の配布を行い、道路・公園・公民館などの公共施設に植栽し緑化を図る。苗木の配布数は、平成19年度48本、平成29年度22本（累積446本）。			
		社会教育課	豊栄のさと・豊郷スポーツ公園には芝生や樹木が植えられている。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		産業振興課	B	—	毎年、希望があり配布が出来ており、緑化に取り組んでいただいている。	
		社会教育課	A	—	花づくり推進事業として各字に花壇用の花苗を配布しており、取り組んでいただいている。豊栄のさとや豊郷スポーツ公園については緑化の促進と適正管理に努めている。	
Action	方向性	産業振興課	◎	苗木の希望する団体等が、決まったところばかりなので、今まで希望がないところにも配布する方法（周知等）を考える。 苗木を渡す際に、植栽後の管理の徹底する。		
		社会教育課	△	景観の保全や温暖化の抑止など、「緑化」の目的によって目標が変わるので整理する必要がある。具体的に何割くらい緑になれば「緑化」となるのか、評価が出来るように計画の段階で示すことも検討する必要がある。		

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

2 地域環境の整備

(3) 維持・管理体制の充実						
Plan	取組の概要		* 公園・緑地・広場については、適切な維持・管理に努めるため、シルバー人材センターへの委託や自治会による管理を進めます。			
	担当課		企画振興課			
Do	実績	課名	取組内容			
		企画振興課	企画振興課で管理している八目中心市街地について公園豊郷町シルバー人材センターに清掃等作業管理を委託。高野瀬池公園は自治会に管理を委託。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		企画振興課	B	—	基本的には豊郷町シルバー人材センターに適切に業務を行ってもらっていると考えているが、八目中心市街地公園について一部の地域住民が自主的に清掃してくださっており、清掃について指摘されることがあった。行き届いていない部分があれば、町からその都度シルバー人材センターに連絡し、適切に管理されるよう促す必要がある。	
Action	方向性	企画振興課	◎	今後もシルバー人材センターとの密な連携を継続していく。		

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

2 地域環境の整備

		(4) 豊郷町固有の良好なふるさと景観づくりの促進						
Plan	取組の概要	* 中山道の松の木街道や弁柄壁の保存・復活など、街道景観再生に向けた取り組みを進めるとともに、住民の自主的な取り組みに対する支援制度を検討します。 * 地区住民の協力のもと、ふるさと景観の保全に努め、特色ある景観・建造物の保存と継承を図ります。 * 豊郷スポーツ公園及び宇曾川堤防の桜並木の保全と憩いの場づくりに努めます。						
	担当課	企画振興課 保健体育課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		企画振興課	【第4次計画】 街道景観再生支援制 度の創設	—	無	無	有無	現状、本町では景観法に基づく、条例や計画は策定されていない。景観は維持されており、策定の必要性は薄い。状況が変われば、別途支援制度は検討する必要がある。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)			(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		企画振興課	D	6	十分に景観は維持されている。			現状としては制度創設や計画策定の必要性は低い。
		保健体育課	B	—	豊郷スポーツ公園及び宇曾川堤防の桜並木の保全に努めた。			
Action	方向性	企画振興課	△	景観は維持されているが今後とも、注視していく必要はある。住民とともに街並み保全に努める。指標については見直しが必要である。				
		保健体育課	◎					

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

3 防災対策・救急対策の充実

Plan								
(1) 豊郷町地域防災計画の見直しと計画内容の普及啓発								
取組の概要		* 大規模災害など様々な災害を想定しながら防災体制の再点検を図り、豊郷町地域防災計画の見直しに反映します。 * 豊郷町地域防災計画の的確な運用を図るとともに、広報やホームページなどを通じた周知徹底に努めます。						
担当課		総務課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		総務課	【第4次計画】 防災行政無線の更新	H13年度 整備	無	有	有無	平成28年度にてデジタル化の工事を発注し、施工。 平成29年4月より運用開始。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)			(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		総務課	A	—	以前のアナログ無線整備時には、屋外拡声子局数が3局であったが、今回のデジタル化に伴い、21局と増設し、各字自治会館および広域避難所への整備を行ったことにより、屋外への防災情報の伝達手段を獲得した。防災マップの更新を行い、全戸配布した。			
Action	方向性	総務課	◎					

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

3 防災対策・救急対策の充実

		(2) 自主防災組織の育成と災害に強いまちづくりの推進						
Plan	取組の概要	<p>* 防災訓練や防災に関する講座の開催など、自主防災意識の高揚に努めるとともに、消防団の団員の確保、訓練の充実を努め組織強化を図ります。また、女性や高齢者など昼間在宅の住民層の参画促進を図ります。</p> <p>* 災害の未然防止や減災を図るため、地震・洪水ハザードマップの活用などによって災害に関する情報提供と啓発を図り、防災意識の高揚に努めます。</p> <p>* 防火・防災の基盤となる消防資機材や貯水施設の整備充実を図るとともに、地域や事業所の自主的な防災訓練に対して、専門的な支援・情報提供に努めます。</p>						
	担当課	総務課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		総務課	【総合戦略】 防災訓練参加者数	—	1,876	1,885	人	伸び悩んでおり、減災対策の強化が必要
			【総合戦略】 自治会での防災士資格 取得者数	—	0	0	人	H30年度から補助開始
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C、Dの場合どうすればできるようになるか)	
		総務課	B	—	防災訓練については、訓練日に宇の行事により参加できない字があり参加者数の減少が見受けられたものの、やや達成できたものとする。 平成28年度 1,509人参加（職員・消防団除く）3字、別日に独自に実施等 平成29年度 1,885人参加（職員・消防団除く）全字実施			
			D	1、5	（自治会での防災士資格取得支援について） 要綱等の整備が遅れた。 従前より取得されている方の把握が難しい。			
Action	方向性	総務課	◎	強化していく。				

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

3 防災対策・救急対策の充実

(3) 治水事業等の推進						
Plan	取組の概要		* 災害の未然防止を図るため、河川や危険箇所の防災パトロール、調査を進めるとともに、洪水の恐れのある河川については河川改修を関係機関に働きかけます。			
	担当課		地域整備課			
Do	実績	課名	取組内容			
		地域整備課	地元からの要望により河川の浚渫を実施するよう県土木事務所に要望を実施。また、破損を発見したときも県土木事務所に補修の要望を実施			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		地域整備課	B	—	県土木事務所への要望により浚渫や補修は、可能な限り実施されている。防災パトロールは、河川管理者である県土木事務所が実施しているため、町が防災パトロールを実施することはない。	
Action	方向性	地域整備課	△	位置づけを検討（ほとんどの河川は県管理であり、災害自体が少ないため）		

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

3 防災対策・救急対策の充実

Plan							
(4) 消防・防災体制の充実							
取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> * 老朽化した防災行政無線の更新整備を図るとともに、適切な維持管理に努めます。また、ホームページへの掲載や携帯電話のメール配信等を活用した災害情報の提供システムの確立について検討を進めます。 * 消防車両など消防資機材の充実に努めます。 * 防火水槽・消火柱の計画的な増設に努めるとともに、水道本管の耐震性の向上を図るための耐震化計画の策定を行いません。 					
担当課		総務課					
Do	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
	総務課	【第4次計画】 災害情報提供システム の確立	—	無	有	有無	防災行政無線のデジタル化の整備は行った。「災害情報提供システム」の趣旨、内容を見直す必要がある。メール配信等システムを導入し災害時のメールを開始した。
Check	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
	総務課	B	6	防火水槽は、見通しをもった整備不足、他課との連携が必要。消防車両(ポンプ車)平成21年度更新。		防火水槽は、見通しをもった整備計画の作成。上下水道課等との連携を密にする。平成30年度にポンプ積載車の配備予定。	
Action	方向性	総務課	◎				

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

3 防災対策・救急対策の充実

(5) 救急・救命及び危機管理体制の充実								
Plan	取組の概要		<p>* 彦根市との連携のもと、救命医療隊員の確保や専門的技術の向上を図るとともに、より高度な救急資機材の導入を進め、救急・救命体制の充実に努めます。</p> <p>* 高齢者のみの世帯や一人暮らし、寝たきり高齢者、障害者などに対する地域の見守り体制と避難支援体制の確立に向けた取り組みを進めるとともに、関係機関の連携による救急・救命ネットワークの構築について検討を進めます。</p> <p>* 緊急事態への対処に関する国民保護法に基づいて、豊郷町国民保護計画のもとに、その対策と内容の啓発に努めます。</p>					
	担当課		<p>総務課 保健福祉課</p>					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		保健福祉課	【第4次計画】 高齢者や障害者の 見守り体制の構築 (援護者台帳登録人 数)	—	—	507	有無	緊急時の見守りが必要な方のリストの作成のため、新規に申請聞き取りができる範囲内で調査をする。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		保健福祉課	B	—	援護者台帳の新規登録、更新を実施した。地域の区長、民生委員の協力を得ることにより、実態に即した調査をすることができた。			
Action	方向性	保健福祉課	◎	個人情報保護との兼ね合いが難しい。				

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

4 地域安全対策の充実

(1) 交通安全施設の整備拡充						
Plan	取組の概要		* 交通事故多発地点や危険箇所の把握に努めるとともに、安全柵や歩道、信号機、カーブミラーなどの交通安全施設の整備・充実を図ります。 * 特に通学路については、安全に通学できる道路環境の確保を図ります。			
	担当課		地域整備課			
Do	実績	課名	取組内容			
		地域整備課	路側帯にグリーンベルトを設置し、横断歩道にはパトライトを設置した。また、見晴らしの悪い交差点に、カーブミラーを設置した。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		地域整備課	B	—	字からの要望や通学路安全プログラムに掲げてある危険箇所を対象に交通安全施設の整備を実施している。危険を伴うため、速やかに施設の整備を実施しているが、危険箇所は尽きることはない。	
Action	方向性	地域整備課	◎			

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

4 地域安全対策の充実

(2) 交通安全意識の高揚								
Plan	取組の概要		* ドライバーに対する交通マナーの向上を促し、安全運転の啓発を進めます。 * 交通安全の関連団体等との連携のもと、子どもたちへの交通安全教育の充実を図ります。また、高齢者や運転免許を持たない人々に対しても交通安全教育を提供できるよう、多様な機会を通じた啓発を進めます。					
	担当課		総務課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		総務課	【第4次計画】 交通事故発生件数の 減少	81		38	件/年	交通指導員やシルバーキャラバン隊等交通安全に携わる方々が頑張ってくれているための結果であると考えます。豊郷町は国道8号線沿いに大型商業施設が多数にあるため、事故が多くなる傾向にあったが、毎月1日、15日の交通安全日や25日のマナーアップ啓発活動の効果があり、交通事故を減らせたのだと考えます。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C、Dの場合どうすればできるようになるか)	
		総務課	A	—	町内で起こる交通事故件数が減少した。			
Action	方向性	総務課	◎					

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

4 地域安全対策の充実

(3) 防犯対策の充実・強化								
Plan	取組の概要		<p>* 安全で安心できるまちづくりを実現するため、彦根警察署との連携のもと駐在所機能の充実について検討を進めます。</p> <p>* 地域や関係団体との連携のもと、防犯灯の計画的な整備を進めます。</p> <p>* 公共施設や道路、公園などにおいては、犯罪防止に配慮した環境設計を行なうとともに、危険箇所の把握・改善に努めます。</p> <p>* 住民同士の見守り活動やパトロールなど地域ぐるみの活動の育成に努めるとともに、子ども110番の家の設置促進と協力家庭等への啓発・情報提供等に努めます。</p>					
	担当課		総務課 地域整備課 社会教育課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		総務課	【第4次計画】 犯罪発生件数の 減少	105		82	件/年	平成29年度の犯罪として最も多かったのは万引きや窃盗であり、その理由として考えられるのは、国道8号線沿いに近年大型商業移設が多くできてきたことが考えられる。
		社会教育課						青少年育成町民会議において、見守り活動やパトロールなど犯罪防止を目的とした活動を行っている。また、子ども110番の家の設置を促進し、子どもや保護者に向けた啓発を行っている。
	課名	取組内容						
	地域整備課	路側帯にグリーンベルトを設置し、横断歩道にはパトライトを設置した。また、見晴らしの悪い交差点に、カーブミラーを設置した。						
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		総務課	B	6	防犯啓発活動は例年防犯自治会での活動のみとなっているので、それに頼らざるを得なくなっている。			
		地域整備課	B	—	歩行者を巻き込む交通犯罪を抑止するために、交通安全施設の整備を実施している。			
		社会教育課	B	—	現在のところ町内で子どもが巻き込まれる事件は起きていない。			
Action	方向性	総務課	△	施策の内容を検討する必要がある。				
		地域整備課	△	施策の内容を検討する必要がある。				
		社会教育課	◎	全国的に様々な事件・事故が起こっており、今後は各機関が連携して防止に向けて全庁的に取り組む必要がある。				

基本目標 1 安全・快適な暮らしをつくろう

4 地域安全対策の充実

(4) 消費者保護の推進						
Plan	取組の概要		* 多様化する相談への適切で迅速な対応を図るため、情報提供機能の向上など消費者相談窓口の充実に努めます。 * 安全で安心できる消費生活の実現のため、学習機会の充実に努めるとともに、住民が主体的に行う取り組みや、消費者組織活動への支援に努めます。			
	担当課		企画振興課			
Do	実績	課名	取組内容			
		企画振興課	役場への消費生活トラブルの相談件数、平成26年度2件、平成29年度6件。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		企画振興課	A	—	消費生活相談員はいないが、役場職員で対応できる部分は対応。煩雑や相手事業所と交渉が必要な場合等は滋賀県消費生活センターをご案内している。 役場へ寄せられる相談件数は年間では多くなく、相談員を設置するのは非効率的である。啓発で事前防止に努めたいが、消費者行政活性化交付金の活用期間が終了することもあり、別途、町単独で事業を行わなければならない。	
Action	方向性	企画振興課	◎	超高齢化社会を迎えて、今後相談件数は増加すると思われる。より一層窓口の充実、担当職員の研鑽が求められる。若者におけるSNS上のトラブルも懸念される。パンフレットの配布や要請に応じた出前講座などの取り組みを強化していく。		

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくらう

1 子育ての環境づくり

		(1) 子育てしやすいまちづくり						
Plan	取組の概要	<p>* 子育てに関する相談窓口や保護者同士の交流・サークル活動などの拠点として、子育て支援センターの機能充実に努めます。</p> <p>* ことばや発達などに関する身近な相談機会の充実に努め、発達障害などの早期発見・早期対応が図れる体制づくりを進めます。そのため、個別の支援計画を作成し、一人ひとりの子どもに応じた教育を推進します。</p> <p>* 要保護児童対策地域協議会における各分野の連携強化によって虐待の未然防止と早期解決に努めます。</p> <p>* 子どもの声に耳をかたむけられるまちづくりを進めるとともに、子どもが抱える悩みに応じられる相談体制の確立を図ります。</p> <p>* 仕事と子育てを両立できる暮らしの実現に向けて、育児休業の取得促進や企業内保育所の設置促進に努めるなど、家庭や地域、企業等への啓発・情報提供を進めます。</p> <p>* 放課後児童クラブの施設や運営の充実に努めます。</p>						
	担当課	医療保険課 子育て支援センター 学校教育課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		子育て支援センター	【第4次計画】 子育て支援センターの充実	設置	—	充実	有無	年齢別のクラスである「ひろば」の充実と日々の常設活動の中身に工夫をこらすことができた。
		課名	取組内容					
		学校教育課	【放課後児童クラブの充実】 平成30年度の入会申込より対象を6年生まで拡大するとともに、学年に関係なく、通年利用・長期休業期間利用を選択できるよう規則改正した。 また、入会に関する選考基準を新たに設けるとともに、入会申込に係る各種様式を改め、入会審査の適正化に努めた。					
Check	達成	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		医療保険課	A	—	母子保健事業において、子どもの発達について支援が必要と考えられる場合には、乳幼児相談や発達相談、保健事業で実施している就園児の発達支援教室、療育教室などにおいて子どもや保護者への支援を実施している。また、継続して支援が必要なケースについては、保護者の同意のもと就学時に個別支援計画を作成し就学先への引継ぎを行なっている。			
		子育て支援センター	B	—	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに不安や悩みを持つ利用者に対して、指導員が親身に寄り添い、それぞれが専門性を発揮して悩み等の解消に向けて取り組むことができた。 子育て支援センターの様々な活動（ひろば・常設）で、利用者同士が互いに交流し、情報交換できる場になっている。 支援センターと他の関係機関が連携し、要保護児童に関する話し合いを充実させ支援に役立った。 			

Check	状況	学校教育課	B	—	<p>平成29年度まで、4年生以上の児童は、定員に余裕がある場合に限り入会を認めていたが、平成29年度に入会児童の保護者を対象に行ったアンケート結果を受けて、平成30年度利用の入会申込より、対象を拡大、新たに選考基準を設けることにより、学年に関係なく、高学年でも必要度の高い児童は、放課後児童クラブを利用できるようになった。</p> <p>学年に関係なく年間利用・長期休業期間利用を選択できるようにすることで、より多くの保護者のニーズに答えることができた。</p> <p>また、放課後児童クラブの入会基準に該当しない児童が利用することで、放課後児童クラブを必要とする児童・保護者が利用できないことがないよう、各種様式を改め、受け付け時の聞き取り等を徹底することで、審査の適正化に努め、平成30年度利用の入会申込では、基準に該当しない児童以外の希望者は、全て入会することができた。</p> <p>【課題】 利用期間を選択制にすることで、平日の児童数の適正化を図ったが、そもそものニーズが増えていることもあり、そこまでの効果はなかった。一方で長期休業期間は、利用希望者が多数いたこと、対象を拡大したことにより、児童数が60名を超えた。</p>
	Action	方向性	医療保険課	◎	<p>発達支援の継続性の視点から、拠点となる部署（機関）が中心となり関係機関と連携していくことが望まれるが、現在拠点となるところが定まっておらず、各機関が相談窓口となり、必要時情報交換をしながら支援をしている状況である。発達支援の相談窓口・拠点として担当部署の設置が必要である。</p>
子育て支援センター			◎	<p>幼稚園・保育園への就園に向け、センター利用者の親子が互いにつながりあうことで、スムーズなスタートができるよう、センターの充実を図りたい。</p>	
学校教育課			◎	<p>指導員の確保（長期休業期間）。</p>	

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

1 子育ての環境づくり

		(2) 保育所機能の拡充						
Plan	取組の概要	* 今後の人口動向をふまえながら、計画的な保育施設の整備を進めます。また、幼児教育との連携強化に努めます。 * 多様化する保育ニーズの把握に努め、乳児保育や延長保育、一時保育などの受け入れ体制の充実を図ります。 * 保育施設、設備の安全性の確保に努めるとともに、健康で豊かな情操を育める保育環境整備に努めます。また、必要に応じて施設、設備の計画的な改修を進めます。						
	担当課	学校教育課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		学校教育課	【第4次計画】 要保護児童対策地域 協議会の充実	設置	—	一定充実	有無	
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		学校教育課	B	—	学校長寿命化計画を策定予定 (H30～) 子ども・子育て支援事業計画の策定 (H30～31) 要保護児童対策地域協議会に置かれている実務者会議は定期的開催され、要保護児童等についての情報を交換し、また、その都度開催される個別ケース検討会議では、支援の方法および計画を検討 (保健福祉課所管)			
Action	方向性	学校教育課	◎					

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

1 子育ての環境づくり

(3) ひとり親家庭への支援の充実						
Plan	取組の概要		<p>* ひとり親家庭について、民生委員児童委員等による相談活動を充実するとともに、日常生活支援や自立支援の体制充実に努めます。</p> <p>* ひとり親家庭同士の交流機会づくりを図るなど、ひとり親やその子どもが孤立することのないよう、住民同士のコミュニケーション豊かなまちづくりを進めます。</p>			
	担当課		保健福祉課			
Do	実績	課名	取組内容			
		保健福祉課	—			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		保健福祉課	D	6	民生委員児童委員は、地域と専門機関とのパイプ役であり、ひとり親家庭の相談活動を実施する組織ではない。また、個人情報保護の観点から、ひとり親家庭同士のつながりを図る機会を設けることも難しい。	安定的な人材の確保、ひとり親家庭のニーズの把握が必要である。
Action	方向性	保健福祉課	◎	県委嘱のひとり親家庭福祉推進員とより一層の連携が必要である。		

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

1 子育ての環境づくり

(4) 幼児教育の充実						
Plan	取組の概要		<p>* のびのびとした環境の中で健康な心とからだ、個性や主体性を育める教育内容の充実に努めます。 また、多様化する教育内容に対応できる教育者の育成・確保に努めます。 * 安全で豊かな情操を育める幼稚園の施設、設備、教具の充実に努めるとともに、必要に応じて施設、設備の計画的な改修を進めます。 * 発達障害のある幼児については、一人ひとりの実態に応じたきめ細かな支援に努め、学校教育をはじめとする関係機関との連携強化によって一貫した教育と発達支援に努めます。</p>			
	担当課		学校教育課			
Do	実績	課名	取組内容			
		学校教育課	学校長寿命化計画を策定予定（H30～）。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		学校教育課	B	—	教諭の研修機会の確保 就学支援委員会で関係機関と協議 学校長寿命化計画を策定予定（H30～）	
Action	方向性	学校教育課	◎			

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

2 子どもの教育環境の充実

(1) 教育施設・設備の整備充実						
Plan	取組の概要		* 教育施設・設備については、安全性を重視した適切な整備と維持・管理に努めるとともに、緑の空間や設備に配慮し、愛校心や創造性を高める快適な教育環境づくりに努めます。 * コンピュータや視聴覚教材などを有効に活用した情報教育の推進や情報モラルの育成を図ります。			
	担当課		学校教育課			
Do	課名	取組内容				
	実績 学校教育課	各教育施設の充実を図った（幼稚園増築、日栄小校舎増築・プール改築 中学校ランチルーム）。 情報教育環境の充実に努めた（各教室にプロジェクター設置、コンピューター室の開放に、情報教育アドバイザーを配置し、情報教育の推進を図る）。				
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		学校教育課	B	—	各教育施設の充実を図った。 情報教育環境の充実に努めた。	
Action	方向性	学校教育課	◎	学校長寿命化計画をもとに計画的に施設整備する。		

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

2 子どもの教育環境の充実

(2) 教育内容・指導法の改善・充実								
Plan	取組の概要		<p>* 子どもたちの学力の向上を図り、学ぶ意欲と生きる力を育む教育の推進に努めます。このため、基礎的基本的な知識・技能の定着をめざして、小中学校において実施している朝学習や標準学力テストなどの充実を図ります。</p> <p>* 教材や学習方法の工夫、カリキュラムの編成など、地域性豊かで柔軟性のある教育内容の充実に努めます。このため、教職員の資質向上のための研修機会の充実に努めるとともに、豊郷町の自然や歴史、産業など様々な地域の題材を取り上げ、体験学習等への活用を進めます。</p> <p>* 国際化の進展に対応できる広い視野をもった児童・生徒を育成するとともに、互いを認め合う多文化共生社会づくりに向けて外国語教育の充実を図り、指導者の育成・確保に努めます。</p> <p>* 不登校や非行など、より専門的なケアや対応を必要とするケースにも的確に対応できるよう、関係機関との連携によって指導の充実を図ります。</p> <p>* 本町にゆかりの深い近江商人の三方よしの精神を教育内容に活かします。</p>					
	担当課		学校教育課 社会教育課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		社会教育課	【総合戦略】 児童の1か月の読書 量 (1人あたり)		4.6	6.1	冊	「子どもの読書計画」を推進。第5次総合計画では、施策として読書について触れるほうがいい。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		学校教育課	B	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保幼小中の連携による自尊感情の育成/学ぶ力を育てる取り組みの実践 ・ 教職員対象の資質向上研修会の開催 ・ 町にゆかりのある偉人の遺徳を学ぶ事業として、両小学校6年生が総合商社(株)丸紅を訪問 ・ A L T を小・中学校に配置、外国語教育の充実、国際教育を推進 			
Action	方向性	学校教育課	◎					

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

2 子どもの教育環境の充実

		(3) 食育の推進と生活習慣の確立				
Plan	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> * 幼い頃から正しい食習慣を身につけ、豊かな味覚を養い、健康への関心を高める教育を進めます。 * 地域や日本の食文化を見直し、次代に継承できる食育の推進をめざします。 * 学習教材や給食において、地域資源の積極的な活用を図るとともに地産地消への理解を深める教育を進めます。 * 「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣を幼いころから身につけられるよう、関係機関・団体との連携によって適切な生活習慣の確立に向けた取り組みを進めます。 				
	担当課	医療保険課 学校教育課 豊郷幼稚園 愛里保育園				
Do	実績	課名	取組内容			
		学校教育課	心身の健全な発達を支える学校給食を生かした食育指導を家庭と連携して取り組んだ。			
		幼稚園	三食バランスの取れた食事の大切さを啓発できる通信を年間3回程度発行したり講演会を開催したりしている。子どもに対しては、給食指導はもちろん、ゲーム形式で栄養素を覚えたり、表にシールを貼ることで意識を高めたり出来るようにしている。			
		愛里保育園	子どもの健康状態を把握する目的と保護者の意識を高めるために、毎日の朝食の摂取状況や睡眠時間の記入をしてもらい、子どもたちの生活習慣の確立ができるよう努めている。 【地域の地産地消】 「とよ坊かぼちゃん」を栽培、調理などを通して、地元の農家さんとの関わりを大切にし豊郷町の特産物を子どもたちに伝え、伝承していく。バケツ稲の実施。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		医療保険課	B	—	乳幼児健診や乳幼児相談において、離乳食の時期から薄味で育てようと保護者への指導を行っている。10カ月・1歳6カ月・2歳6カ月健診においては食事調査を記入してもらい、栄養士の個別指導を実施している。	
		学校教育課	B	—	学校給食の材料に、町内産のコメや野菜を一部利用している。食育について、学校給食を生かした食育指導と健康教育の充実に努めた。	
		幼稚園	B	—	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら基本的な生活習慣を身につけられるようにしたことで、園児は自ら意識する姿がみられる。しかし、まだまだ身につけていないので継続して指導する必要がある。 ・保護者向けの講演会を開催したが、参加人数が少ない。関心を持ってもらえるような工夫が必要である。 	
		愛里保育園	B	—	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の健康カードの記入や子どもたちの話から、保護者啓発に努め、一部の子どもを除いては、朝食摂取できている。欠食の子どもに対しては、個別に今後も保護者啓発に努めていきたい。 ・特産物や野菜を実際に栽培することで、食材に対して興味・関心を持ち、食べられることへの感謝の気持ちを育むことができた。 	
Action	方向性	医療保険課	◎	幼児教育・保育での食育は現在も実施されているが、保護者との距離が一番近い幼・保で朝食の必要性を啓発することも重要かと思う。		
		学校教育課	◎			
		幼稚園	◎			
		愛里保育園	◎			

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくらう

2 子どもの教育環境の充実

(4) 特別支援教育の充実								
Plan	取組の概要		<p>* 特別支援を要する児童・生徒の一人ひとりの個性に配慮した教育内容と設備の充実に努めます。また、特別支援教育のための人材の育成・確保に努めるとともに、すべての児童・生徒が温かく関わりあって取り組める教育環境づくりに努めます。</p> <p>* 特別支援を必要とする幼児・児童・生徒の一人ひとりのニーズを的確に把握し、長期的な視点で乳幼児期から義務教育を終えるまで一貫して支援を行うため、福祉・教育・医療・労働などの様々な面から取り組みを進め、関係機関の連携協力を確保するため、個別の支援計画（支援ファイル）を作成します。</p>					
	担当課		医療保険課 保健福祉課 学校教育課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		医療保険課	【第4次計画】 個別支援計画 の策定	—	—	—	有無	小学就学後の継続
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		医療保険課	A	—	母子保健事業において子どもの発達について支援が必要と考えられる場合には、乳幼児相談や発達相談、保健事業で実施している就園児の発達支援教室、療育教室などにおいて子どもや保護者への支援を実施している。また、継続して支援が必要なケースについては、保護者の同意のもと就学時に個別支援計画を作成し就学先への引継ぎを行なっている。			
		学校教育課	B	—	支援を要する児童生徒について個別に対応するため、特別支援教育支援員および介助員を配置している。			
Action	方向性	医療保険課	◎	発達支援の継続性の観点から、拠点となる部署（機関）が中心となり関係機関と連携していくことが望まれるが、現在拠点となる場所が定まっておらず、各機関が相談窓口となり、必要時情報交換をしながら支援をしている状況である。発達支援の相談窓口・拠点として担当部署の設置が必要である。				
		学校教育課	◎					

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

2 子どもの教育環境の充実

(5) 開かれた学校づくり								
Plan	取組の概要		* すべての幼稚園・小中学校に設置されている学校園評議員会を通して、地域の声を学校に活かすとともに、外部評価（学校関係者評価）を取り入れ信頼される学校づくりに努めます。 * 保護者や地域住民を定期的にゲストティーチャーとして招へいするなど、地域の人材活用を積極的に進め、学校・家庭・地域社会の教育力の向上を図ります。					
	担当課		学校教育課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		学校教育課	【第4次計画】 ゲストティーチャー の充実	30人		充実	—	今後も多方面のゲストティーチャーを招へいする。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		学校教育課	B	—	田んぼの子事業や、人権学習で地域の方の人材活用を図っている。			
Action	方向性	学校教育課	◎					

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

2 子どもの教育環境の充実

(6) 青少年の健全育成						
Plan	取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> * 関係機関との連携のもと、非行防止パトロールの充実に努めるとともに、地域ぐるみの非行防止活動の展開を促進します。 * 青少年健全育成の関係団体との連携により、地域ぐるみで子どもを守り育てる体制整備を図ります。 * 子ども会を中心として、青少年の自主的な社会体験活動、社会参加活動を促進します。 * ボランティアサークルの育成やふるさと学習会の実施、研修機会の充実に努めるとともに、積極的なまちづくりへの参画促進・支援の充実に努めます。 * 青少年の健全育成活動に関する広報の充実に努めます。 * 虐待防止ネットワークの体制づくりを進め、各分野の連携強化によって虐待の未然防止と早期解決に努めます。 * 青少年の社会的自立を促すため、就労相談や職業訓練機会の充実に努めます。 			
	担当課		社会教育課			
Do	実績	課名	取組内容			
		社会教育課	青少年の健全育成については、町から補助金を支出し、青少年育成町民会議が活動を行っている。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		社会教育課	C	2 4	町内の個人および団体等で構成しているが、勤めておられる方が多いため、十分な活動ができない。 補助金が減っている。	活動が多岐にわたるため多くの方の協力が不可欠であるが、協力いただくことが年々困難になり、事務局の負担が増えている。青少年を取り巻く環境も多様化しており、実態に合わせた活動ができるよう、他の課と連携するなど人材を確保する必要がある。
Action	方向性	社会教育課	◎	青少年の健全育成については、引き継ぎ事業を行う。 虐待防止ネットワークの体制づくりや就労相談については社会教育課では困難なため、保健福祉課・人権政策課とも連携する必要がある。今後は各課が連携した中で推進していきたい。また、子ども会を中心に青少年の自主的な社会体験活動、社会参加活動を促進を図る。ボランティアサークルの育成やふるさと学習会の実施、研修機会の充実に努めると書かれているが、子ども会活動やボランティアサークル（お話ボランティア等）に対してそこまでできていないのが現状であるため、再検討する必要がある。		

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

3 地域における学習環境の充実

(1) 生涯学習推進体制の整備・充実						
Plan	取組の概要		* 豊郷町生涯学習計画の推進に努めるとともに、生涯学習を総合行政ととらえた、全町的な推進体制の確立に努めます。 * 社会教育と学校教育部門については特に連携強化を図るとともに、住民と行政の協働による生涯学習の推進体制づくりについても検討を進めます。			
	担当課		学校教育課 社会教育課			
Do	実績	課名	取組内容			
		社会教育課	生涯学習計画を策定していない。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		社会教育課	C	2	生涯学習は総合的に進める必要があり、様々な機関の協力が不可欠である。現在の課の職員だけでは十分な推進は困難である。	まずは生涯学習体制の整備充実を図る必要がある。
Action	方向性	社会教育課	◎	「生涯学習」は学校教育も含めて生涯を通じた学習という広い意味があり、町では現在のところ生涯学習計画が策定されていないので、その点を踏まえて記載を修正する必要がある。		

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

3 地域における学習環境の充実

(2) 生涯学習機会の拡充と学習活動の促進								
Plan	取組の概要		<p>* 多彩な学習プログラムの提供に努めるとともに、住民が主体となった学習活動を一層促進するため、指導者の発掘・育成や情報提供などの支援に努めます。</p> <p>* 特に環境問題や子育て、介護、情報化や国際化など、まちづくりに関わる課題に関する学習内容の重点的な提供を図るため、庁内各課の連携による取り組みを進めます。</p> <p>* 生涯学習ボランティアの育成を図るとともに人材・グループ登録システムなどの確立を図り、住民自らがともに学び合い、学んだ成果をまちづくりに活かせる、地域性豊かな生涯学習のまちづくりを進めます。</p> <p>* 分館活動への支援等、住民の自主学習グループやサークルに対する支援を充実します。</p>					
	担当課		社会教育課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		社会教育課	【第4次計画】 生涯学習ボラン ティアの育成(人 材登録システ ムの確立)	50	—	—	人	おはなしボランティアなど図書館のボラン ティアは把握しているが、生涯学習全体のボ ランティアは登録制度を構築していないた め、把握できていない。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		社会教育課	C	2	ボランティア活動をしていただける人材が不 足している。また、十分な研修の機会が確保 できない。	ボランティアを育成するための講座の開催だ けでなく、ボランティアが活躍できる機会を 提供する必要がある。		
Action	方向性	社会教育課	◎	今後も取り組んで行くが、指標の見直しが必要である。				

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

3 地域における学習環境の充実

		(3) 生涯学習拠点の整備・充実						
Plan	取組の概要	* 図書館の蔵書や資料の充実と情報機器等の充実を図るとともに利用促進に努めます。 * 生涯学習の各拠点施設や設備の充実を図るとともに、施設間の情報ネットワークの構築を図ります。また、利用時間の拡大等利便性の向上により利用促進に努めます。						
	担当課	社会教育課						
Do	実績	課名	取組内容					
		社会教育課	【生涯学習拠点の整備（図書館の充実）】蔵書の充実や貸出冊数の増加などを行った。					
	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明	
	社会教育課	【第4次計画】 図書館の貸出冊数の 増加	33,927	H25年度 43,784	38,033	冊		
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		社会教育課	B	—	平成28年度に図書館の貸出冊数を5冊から10冊に拡大したことで、個人貸出冊数が増加した。			
Action	方向性	社会教育課	◎					

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

4 まちの文化の保全と育成

(1) 魅力的な文化ホール事業の創出						
Plan	取組の概要		<p>* 豊郷町の地域独自の文化を活かせる自主文化事業の創出を図り、文化ホール事業のシンボルとしての展開をめざします。</p> <p>* 各種の文化展や展覧会、コンサート、演劇公演など、優れた芸術・文化を鑑賞できる機会の充実を図るため、多様な催しの誘致を進めます。</p> <p>* オータムフェスティバルをはじめとして、住民の創作活動や文化・学習活動等の成果発表の機会の拡充を図り、一層の活動意欲向上と文化振興を促進します。</p>			
	担当課		社会教育課			
Do	実績	課名	取組内容			
		社会教育課	平成28年度からは地方創生事業として地域カレッジを行うなど、事業の充実を行っている。文化ホール事業参加者数：平成26年度のべ5,288人、平成29年度のべ6,320人。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		社会教育課	B	—	文化ホールの来場者数が増えている。	
Action	方向性	社会教育課	△	自主事業の拡充や催し物の誘致は、現状の職員配置上対応が難しいため、指定管理の検討を含め、現在の体制で無理のない計画を検討する必要がある。		

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

4 まちの文化の保全と育成

(2) 文化・芸術団体育成と指導者の確保						
Plan	取組の概要		* 住民の多様な文化活動の振興を図るため、自主的な活動の育成・支援に努めるとともに、リーダーや指導者の掘り起こし、養成に向けた取り組みを進めます。 * 広域的な連携や民間の活用などにより、多様化・高度化する住民ニーズに対応できる指導者の招へいやサークル等への派遣・斡旋のしくみづくりを進めます。			
	担当課		社会教育課			
Do	実績	課名	取組内容			
		社会教育課	【文化・芸術団体、リーダーや指導者の養成】 平成26年度17団体（214人）、平成29年度16団体（199人）。 数字は文化協会のサークル数(人数)			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		社会教育課	C	6	高齢化等の理由によりサークルの加入者が減ってきている。	サークル数・人数が減少しており、新たな年代層への呼びかけや仕組みづくりの見直しなどを行う必要がある。
Action	方向性	社会教育課	◎			

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

4 まちの文化の保全と育成

(3) 広報・情報サービスの充実						
Plan	取組の概要		* 文化・芸術や催しに関する情報提供の充実を図るため、広報紙面やホームページの活用などを進め、宣伝活動に努めます。			
	担当課		社会教育課			
Do	実績	課名	取組内容			
		社会教育課	豊栄のさとの催し物案内を毎月発行し、全戸配布を行っている。また、ホームページの更新や、ポスターの掲示など宣伝活動を行っている。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		社会教育課	A	—	町民を対象とした周知を図った。	
Action	方向性	社会教育課	◎			

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

4 まちの文化の保全と育成

(4) 文化遺産の保護・保存と活用の推進						
Plan	取組の概要		* 埋蔵文化財や民俗行事など歴史文化遺産の掘り起こし・調査に努め、必要に応じて文化財の指定を図ります。 * 指定文化財の適切な保存と継承に努めるとともに、歴史資料館の充実など文化遺産の保管と展示機能の向上に努めます。			
	担当課		社会教育課			
Do	実績	課名	取組内容			
		社会教育課	文化財の指定件数：平成26年度15件、平成29年度16件。 平成27年度にスズムシバナを天然記念物に指定している。(件数には国・県・町の指定文化財をすべて含めている)			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		社会教育課	C	2 3	専門職員がないので保存・活用のノウハウがない。 文化財の保管・展示を町主体で行う場所がない。	専門職員を雇用し、保管・展示のための場所を確保することが必要である。
Action	方向性	社会教育課	△			

基本目標 2 豊かに育つ暮らしをつくろう

4 まちの文化の保全と育成

Plan								
(5) 郷土の歴史と生活文化に親しむ活動の推進								
取組の概要		<p>* 文化財保護審議会委員等の協力のもと、住民や町外者が豊郷町の文化財や遺跡をめぐり、その歴史と生活文化に親しみながら学べる機会の提供を図ります。また、探訪ルートの設定や広報資料の充実を図り、観光への活用を進めます。</p> <p>* 学校教育においても地域の歴史・文化に関する学習機会を拡充するとともに、文化財等の教材としての活用を進めます。</p> <p>* 無形民俗文化財である江州音頭の保存と伝承に努めるため、講習機会の創出やイベントの開催など、後継者の育成に努めます。</p>						
担当課		学校教育課 社会教育課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		学校教育課	【第4次計画】 文化財活用教育の実施	—	H25年度 2	2	校	
		社会教育課	【第4次計画】 【総合戦略】 江州音頭保存会の人数	30	H25年度 27	36	人	
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		学校教育課	B	—	郷土学習として、江州音頭・豊郷の偉人や、地域文化の学習を実施した。			
		社会教育課	B	—	江州音頭保存会で、保育園・幼稚園・小学校の子ども達への指導やイベントへの参加を行い、普及啓発・後継者の育成に努めている。			
Action	方向性	学校教育課	◎					
		社会教育課	◎					

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

1 健康づくりと介護予防の推進

(1) 健康づくりの基盤整備						
Plan	取組の概要		* 「自分の健康は自分でつくる」を基本理念にすえた一人ひとりの健康づくりとともに、それを支援する環境づくりを地域全体で推進するため、健康増進計画の策定及びその推進を図ります。 * 保健活動、健康づくり活動の中心となる保健師や栄養士、看護師等の確保拡充を図るとともに、各地区に健康推進員を配置し、地域ぐるみの健康づくり活動の充実に努めます。			
	担当課		医療保険課			
Do	実績	課名	取組内容			
		医療保険課	平成27年度に健康増進計画および食育推進計画を策定。健康づくり推進協議会で、進捗状況・今後の取り組み等について情報共有・検討している。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		医療保険課	B	—	健康増進計画・食育推進計画の目標達成に向けて、必要時連携しながら関係機関それぞれが取り組みを実施できている。今後はさらにお互いの取り組みを理解し、より効果的な方法や新たな取り組みについて検討・実施していくことが望まれる。	
Action	方向性	医療保険課	◎	健康推進員について区長推薦をお願いしているが、各字からの養成講座受講者が年々減少している。健康推進員の役割や必要性についての理解が十分に得られていない部分を改善していく。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

1 健康づくりと介護予防の推進

(2) 健康づくり意識の啓発						
Plan	取組の概要		* 健康づくりに関するイベントの実施や、広報活動の一層の充実によって住民一人ひとりの健康づくり意識の啓発に努めます。			
	担当課		医療保険課			
Do	実績	課名	取組内容			
		医療保険課	健康増進計画・食育推進計画の目標達成に向けて、必要時連携しながら関係機関それぞれが取り組みを実施できている。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		医療保険課	A	—	健康増進計画・食育推進計画の目標達成に向けて、必要時連携しながら関係機関それぞれが取り組みを実施できている。今後はさらにお互いの取り組みを理解し、より効果的な方法や新たな取り組みについて検討・実施していくことが望まれる。	
Action	方向性	医療保険課	◎	今後は「健康増進計画・食育推進計画」と整合を図りつつ、評価指標の設定を行う。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

1 健康づくりと介護予防の推進

(3) 生活習慣病予防の推進								
Plan	取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> * 特定健診の受診率をあげるとともに受診者に情報提供を行い、動機付け支援、積極的支援等の特定保健指導等の推進を図ります。 * 35歳から住民への健診受診勧奨を行い、また健診受診者には保健指導を実施し早期からの生活習慣病予防の啓発を推進し、若いうちからの生活習慣予防意識の向上を図ります。 * 介護予防の視点から、地域包括支援センターを中心に高齢者の健康づくりを推進します。 * 後期高齢者の健康づくり・相談事業等を広域連合と協力し推進します。 					
	担当課		医療保険課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		医療保険課	【第4次計画】 特定健診受診率の向 上	32.8	—	H28年度 40.9	%	微増ではあるが受診率は向上している。しかし国の目標である60%は困難な状況である。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		医療保険課	B	—	特定健診受診率向上に向けて、若い世代から健診受診の習慣、意識向上となるよう20~30歳代(国保被保険者)に受診勧奨を行なっている。継続して早期からの生活習慣病予防の啓発に努めていきたい。			
Action	方向性	医療保険課	◎	事業展開に必要なマンパワーが不足しており、人材の充実が課題である。				

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

1 健康づくりと介護予防の推進

(4) 母子保健事業等の推進					
Plan	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> * 保健師等による新生児訪問を全員に向けて行い、保健指導の充実、母子保健事業の推進を図ります。 * 乳幼児の健康診査においても子育て支援機能を充実させ、母子保健事業の推進を図ります。 * 子育て支援および関係各機関とネットワークを結び、虐待の早期発見・対応をめざします。 * 親子教室や乳幼児発達相談事業の充実や母親の心のサポートに着目した支援など、母子保健事業の一層の充実をめざします。 			
	担当課	医療保険課 保健福祉課			
Do	課名	取組内容			
	医療保険課	【乳幼児健診受診率の向上】 平成19年度90～100%、平成26年度91.9～100%、平成29年度90～98%。 例年90%以上の受診率である。未受診者には個々に連絡を取り受診勧奨、状況確認を行なっている。			
Check	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
	医療保険課	A	—	健診の場を保護者が相談できる場として活用してもらえよう、保健指導等個別に関わる時間を取って対応している。また、スタッフも顔なじみの関係が築けるよう他の母子保健事業と共通のスタッフで対応している。	
	保健福祉課	D	2	児童虐待相談窓口体制が万全ではなく、他業務との兼務のなかで対応が困難。	専門職の採用など、相談窓口体制の充実が必要不可欠である。
Action	医療保険課	◎			
	保健福祉課	◎	児童虐待だけでなく家庭の問題が複雑化、多様化している。障害、高齢者虐待、生活困窮等、合併した問題が多く、専門知識をもった相談窓口体制の充実が望まれる。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

1 健康づくりと介護予防の推進

(5) 栄養改善事業の推進						
Plan	取組の概要		* 各種健診・相談事業を通じて、対象者の特性に応じた栄養指導の充実に努めます。			
	担当課		医療保険課			
Do	実績	課名	取組内容			
		医療保険課	乳幼児健診や特定健診、成人すこやか健診における栄養指導は個別に対応している。乳幼児健診では食事調査票、特定健診等では前年度までの個別記録を、個々の状態・状況に応じた指導に活用している。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		医療保険課	B	—	乳幼児健診や特定健診、成人すこやか健診における栄養指導は個別に対応している。乳幼児健診では食事調査票、特定健診等では前年度までの個別記録を、個々の状態・状況に応じた指導に活用している。	
Action	方向性	医療保険課	◎	健診受診者だけでなく妊娠期から乳幼児やその保護者等様々な年代層へのアプローチが必要である。栄養指導の企画調整を行う管理栄養士の確保が必要である。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

1 健康づくりと介護予防の推進

(6) 歯科保健事業の推進						
Plan	取組の概要		* 乳幼児から高齢者までライフサイクルに応じた歯科保健指導事業の充実に努めます。			
	担当課		医療保険課			
Do	課名	取組内容				
	実績 医療保険課	<p>【歯科検診受診率の向上】 平成19年度1歳半95%、3歳半90.1%、平成26年度1歳半91.9%、3歳半100%、平成29年度1歳半98.2%、3歳半90%。 就園後は、各校・園にて年1回歯科健診を実施している（教育委員会） 成人期以降の健診については実施していない。個々にかかりつけ歯科医での健診となる</p>				
Check	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
	達成状況 医療保険課	C	2 6	業務担当が兼務状態で現況においては、企画・調整・実施事務すべての段階において、対応が困難である。 生活習慣病予防対策・介護予防対策としても成人期や高齢期の歯科健診は必要と考えるが、実施方法や事務手続きなど実施に向けた具体的な検討に至っていない。		
Action	方向性	医療保険課	◎	ライフサイクルに応じた対応には、マンパワーが必要である。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

1 健康づくりと介護予防の推進

(7) 精神保健事業の推進						
Plan	取組の概要		* 精神保健相談の窓口を開設し、保健所・病院・自立支援事業等の各関係機関との連携を密にして、精神保健事業の充実に努めます。			
	担当課		医療保険課			
Do	実績	課名	取組内容			
		医療保険課	精神保健の相談については、相談があれば適宜対応しているが、相談窓口としての周知はしていない。保健所等の相談事業等の紹介・相談者の同意のもとに情報提供を行なっている。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		医療保険課	B	—	個々のケースの相談には対応できている。必要時保健福祉課、保健所等と連携できた。	
Action	方向性	医療保険課	◎	主たる担当部署・担当業務の明確化と、精神保健福祉士等の相談支援専門職の確保の必要性を明確化し、精神保健事業の充実をはかる。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

1 健康づくりと介護予防の推進

(8) 感染症対策の推進						
Plan	取組の概要		* 定期の予防接種事業の推進・啓発のみならず、広域での対応が必要な新型インフルエンザ等新興感染症の予防や啓発にも各関係機関と連携をとりながら取り組みます。			
	担当課		医療保険課			
Do	実績	課名	取組内容			
		医療保険課	感染症対策として、定期予防接種の接種勧奨、広報等での情報発信を行なった。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		医療保険課	B	—	乳幼児期の定期予防接種の接種率の向上が図れた。	
Action	方向性	医療保険課	◎	引き続き行っていく。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

1 健康づくりと介護予防の推進

(9) 介護予防の推進						
Plan	取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> * 高齢者がいつまでも健康で暮らせるよう、介護予防に関する啓発や認知症予防・閉じこもり予防をはじめとする地域支援事業を進めます。 * 健康づくり、生きがいつくりと結びつけた「より積極的な介護予防」の推進を図ります。 * 介護予防事業の効果に関する的確な評価を行い、有効で実効ある事業展開を図ります。 			
	担当課		医療保険課			
Do	課名	取組内容				
	実績	医療保険課	基本チェックリストを毎年実施し、結果を個々に返すことで対象者自身の現状把握と介護予防の必要性についての啓発を実施している。また、宇の老人会へ出向き介護予防に関する出前講座を実施している。 65歳以上に占める要支援・要介護認定者の割合：平成19年度20.0%、平成26年度19.3%、平成29年度20.2%。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		医療保険課	C	2 5	継続的な専門職の確保が必要。 地域により介護予防に関する意識の差が大きい。	
Action	方向性	医療保険課	◎	介護予防の面以外の高齢者福祉の観点が抜け落ちているので、福祉面の評価指標を定めて施策展開が必要である。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

1 健康づくりと介護予防の推進

(10) 健康管理情報システムの整備						
Plan	取組の概要		* 特定健診等、医療保険者を中心とした、健診情報やレセプト等の医療情報の集積化を行うことで、新たな時代のニーズに即した健康管理情報システムを構築・整備に努めます。			
	担当課		医療保険課			
Do	実績	課名	取組内容			
		医療保険課	健康管理システムにより母子保健・予防接種・各種検（健）診情報を管理している。国保関係については別システムにより管理している。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		医療保険課	B	—	健康管理システムにより母子保健・予防接種・各種検（健）診情報を管理している。国保関係については別システムにより管理している。	
Action	方向性	医療保険課	◎			

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

1 健康づくりと介護予防の推進

(11) 生涯スポーツの推進と指導者等の育成								
Plan	取組の概要		* 生涯にわたってスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブをはじめとして、年齢やライフスタイルに応じた多様なスポーツプログラムや健康づくりプログラム、イベントの充実、新しいスポーツプログラムの導入に努めます。 * 併せてスポーツ・レクリエーション指導者の養成を図るとともに、ボランティアの確保・支援に努めます。 * 全町的なスポーツ・レクリエーションイベントの開催や広域的なイベントへの積極的な参加に努めます。 * スポーツ・レクリエーションに関する情報提供の充実、指導・助言・相談体制の充実を図ります。					
	担当課		社会教育課 保健体育課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		社会教育課	【第4次計画】 スポーツに親しむ住 民の割合の増加	36.0	22.8	—	%	毎年統計をとっていないため不明。H31年度にスポーツ推進計画の見直しを行うため、その時にアンケートを実施する予定。H26年度健康や食育に関するアンケートでは、日頃健康づくりのために（継続して、あるいは時々）運動している人の割合：39.8%
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		社会教育課	B	—	豊郷町体育協会・スポーツ推進委員・アザックとよさとが連携し、健康フェスティバルをはじめとして様々なイベントを企画・運営している。			
Action	方向性	社会教育課	◎					

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

1 健康づくりと介護予防の推進

(12) スポーツ・レクリエーション施設の整備充実						
Plan	取組の概要		* 豊郷スポーツ公園については、スポーツとレクリエーションともに親しめる屋外活動拠点として、計画的に施設・設備の充実整備を図ります。 * 身近な草の根広場の充実支援に努めるとともに、学校体育施設の地域開放を一層促進します。			
	担当課		保健体育課			
Do	実績	課名	取組内容			
		保健体育課	【豊郷スポーツ公園の整備】 平成26年度に体育館の改修と法面の改修を行い、平成29年度にバンガローの解体を行った。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		保健体育課	B	—	豊郷スポーツ公園は指定管理者が管理を行っており、3年ごとに指定管理者を公募している。現在の指定管理者はアザックとよさとで、施設の管理と利用者の増加に向けた取り組みを行っている。今後は解体したバンガローの跡地利用について検討するとともに、さらに利用者が増加するよう取り組みを行っていく。	
Action	方向性	保健体育課	◎	草の根広場の充実・学校体育施設の地域開放は保健体育課だけでは推進は困難である。武道館もスポーツ施設になるので、含めて記載する。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

2 医療・介護の基盤整備

Plan							
(1) 医療体制の充実							
取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> * 高齢者人口の増加する中で、保健・医療・福祉の連携を密にするとともに医師会等の協力を得て滋賀県保健医療計画の推進に努めます。 * 安心して子どもを生める場を確保するため、近隣市町と連携しながら、保健医療圏域における産婦人科等の確保に努めます。 * 広域的連携を図って効率的な救急医療体制の一層の充実に努めます。 					
担当課		医療保険課					
Do	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
	医療保険課	【第4次計画】 産科、小児科の維持	産科、小児科 1病院4診療 所 小児科42カ 所		産科1病院 2診療所 小児科3病院 35診療所	か所	H29年度滋賀県保健医療計画による産科 (分娩施設有)・小児科の医療機関数はやや 減少しているものの、対象者が多く対応でき ないという状況ではない。
Check	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
	医療保険課	A	—	H29年度滋賀県保健医療計画による産科(分娩施設有)・小児科の医療機関数はやや減少しているものの、対象者が多く対応できないという状況ではない。今後も安定した分娩施設の運営が維持できるよう圏域全体での支援が必要である。			
Action	方向性	医療保険課	◎				

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

2 医療・介護の基盤整備

(2) 介護保険の円滑な運営						
Plan	取組の概要		<p>* 介護保険の円滑な運営を図るため、3年を1期とする介護保険事業計画を策定し、介護予防の推進、認知症ケアの推進、地域ケア体制の整備を重点課題として、介護サービスの提供体制の確保、地域支援事業の実施に関する取り組みを進めます。</p> <p>* 高齢者が要支援・要介護状態になっても、できる限り住み慣れた地域や家庭で暮らせるよう、適切な予防給付・介護給付の充実を図り、地域密着型サービス※を含め介護サービス基盤の整備に努めます。</p> <p>* 地域包括支援センターなどが担っている介護予防事業や包括的支援事業等の地域支援事業の充実に努めます。</p>			
	担当課		医療保険課			
Do	課名	取組内容				
	実績 医療保険課	<p>2025年に向けて地域包括ケアシステムを構築するために、医療・福祉に携わる各職種の現状とそれぞれの課題を把握し、種々の課題解決に向けて、多職種間で協議・検討を行なっている。</p> <p>また、サービス利用状況を利用者本人に通知することにより、適切な利用状況把握を行ない、制度・給付に対する理解を深めることに努めている。</p> <p>65歳以上に占める要支援・要介護認定者の割合：平成19年度20.0%、平成26年度19.3%、平成29年度20.2%。</p>				
Check	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
	達成状況 医療保険課	B	—	<p>2025年に向けて地域包括ケアシステムを構築するために、医療・福祉に携わる各職種の現状とそれぞれの課題を把握し、種々の課題解決に向けて、多職種間で協議・検討を行なっている。</p> <p>また、サービス利用状況を利用者本人に通知することにより、適切な利用状況把握を行ない、制度・給付に対する理解を深めることに努めている。</p> <p>そのうえで、地域密着型サービスとして認知症対応型通所介護や共同生活介護等の事業所指定を行ない、高齢者が住み慣れた地域で適切なサービスを受けることができるよう基盤整備に引き続き努めていく。</p>		
Action	方向性	医療保険課	◎			

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

2 医療・介護の基盤整備

(3) 地域包括ケアシステムの構築					
Plan	取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> * 住み慣れた地域での生活の継続支援や要援護者の早期発見を目的として、地域住民への予防意識などに関する啓発を一層充実します。 * 認定調査などを通じて要援護者のニーズを正しく把握し、生活課題の解消に向けて支援に努めます。 * これらの過程において様々な機関・人材のネットワークを強化し、地域包括ケアシステムの構築を図ります。 * 介護予防事業における地域福祉リーダーや認知症サポーターなど、地域の人材育成に努めます。 		
	担当課		医療保険課		
Do	課名	取組内容			
	実績 医療保険課	<p>【地域包括支援センター職員数の充実】 主任ケアマネジャー1人、社会福祉士1人 嘱託：保健師1人、ケアマネジャー1人</p> <p>三職種配置されているが、業務量や困難ケースの数から考えると十分な状況とは言えない。</p>			
Check	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
	達成状況 医療保険課	B	—	町内事業所等を交えた多職種による連携会議を定期的で開催し、町の課題や必要な施策等について検討を進めている。 認知症キャラバンメイト研修を広域で定期的で開催し、積極的にサポーター養成講座を開催している。	
Action	方向性	医療保険課	◎	専門職の確保を積極的に図る必要がある。	

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

3 地域福祉の推進

(1) 地域福祉推進体制の整備						
Plan	取組の概要		* 福祉・保健・医療・教育・就労などさまざまな分野におよび地域福祉の推進へ向けて、全体を主導する主管課の明確化と横の連携強化、職員周知や意識の転換など、行政における推進体制の確立を図ります。 * 地域住民や関係者の参画のもとに、地域福祉推進の指針となる「豊郷町地域福祉計画」の策定に取り組みます。			
	担当課		保健福祉課			
Do	課名	取組内容				
	実績 保健福祉課	【地域福祉計画を策定中】 地域福祉計画の策定に向けてスケジュールどおり進めている。				
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		保健福祉課	A	—	住民ワークショップの実施にあたり、町広報を通じて呼びかけた。各世代から率直な意見が活発に出され充実したものになった。	
Action	方向性	保健福祉課	◎	計画策定後の進行管理に努める。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

3 地域福祉の推進

(2) 地域福祉意識の向上								
Plan	取組の概要		* 住民相互の結びつきの意識を高めるとともに、子どもから高齢者まで各世代の福祉意識の向上を図るため、福祉講座の開催や福祉教育の充実、広報・啓発活動の充実に努めます。 * 身近な地域における福祉体験・交流の場として、地域の「縁側づくり」事業を支援し、地域住民の主体的な意識の向上を図ります。					
	担当課		保健福祉課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		保健福祉課	【第4次計画】 地域の「縁側づく り」の推進	2	4	4	ヶ所	町内4か所(石畑・三ツ池・吉田・雨降野) で宅老所を開設中。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		保健福祉課	D	6	集まる人が固定化されてきている。他の字への広がりが乏しい。	場所を活用し、催しものを開催しものをする等マナー化を防ぐ。保健師との連携をするなど介護予防講座などできるとよい。		
Action	方向性	保健福祉課	◎	高齢者だけでは話題性に欠けるため、年齢を問わず子どもたちとの交流も視野に入れることで地域の活性化に繋げる。				

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

3 地域福祉の推進

Plan								
(3) 地域福祉団体や人材の育成とネットワーク								
取組の概要		* 地域福祉に関わる社会福祉協議会、自主活動グループ、NPO※、事業者、ボランティアなど、地域福祉に関わる人材や団体の育成を支援します。 * これらの地域福祉団体や人材の協働・連携の強化を図り、地域包括ケアシステムの一環となる地域福祉ネットワークの形成に努めます。						
担当課		保健福祉課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		保健福祉課	【第4次計画】 ボランティア活動に 参加する住民の増加	135	H25 75 ↓	—	人	社会福祉協議会が所管する福祉団体においては会員の高齢化等による構成員の減少が課題となるなかで団体活動を衰退させてはいけないとの思いから、これまでも福祉団体の継続と推進を図るべく熱心に取り組みを図られており、ある団体では団体会長や役員との協働により独自性ある活動を随所に取り入れながら団体の活性化を目標に取り組みを進めている。
	【第4次計画】 参加に向けた啓発推 進と実践機会の拡充 人材の拡大		—	H25年度 に指標見 直し	拡充	—		
	取組内容							
【地域福祉ネットワークの形成】 社会福祉協議会で、総合受付、調整事務の実績11,754件。多様化する生活課題には地域独自で解決するには時間も労力もかかることもあり、このような課題に対して地域住民・民生委員・役場・警察・社協・その他関係機関の職員で構成される「社協 福祉連絡会」を立ち上げられた。(平成22年度)、現在2箇所の自治会で定期的開催。地道な社会福祉活動の継続。								
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		保健福祉課	A	—	地域福祉推進体制の確立・地域福祉ネットワークの確立・要援護者に対する地域防災・防犯支援体制の強化・総合相談支援体制の強化の主要事業の形成が図られている。 地域福祉団体や人材の協働・連携強化を図り地域包括ケアシステムの一環となる地域福祉ネットワークの形成(高齢者福祉・障がい者福祉)。			
Action	方向性	保健福祉課	◎	地域福祉を担う人材確保ができれば、より多くの生活課題の解決(総合相談対応)や事業推進に向けた取り組みが一層向上できると考える。				

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

3 地域福祉の推進

(4) 地域福祉活動の促進								
Plan	取組の概要		* 自治会が中心となった地域づくりを促すとともに、地域の「縁側づくり」事業や子育て支援活動などの身近なふれあいと支えあいの地域福祉活動を促進します。					
	担当課		保健福祉課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		保健福祉課	【第4次計画】 地域の「縁側づく り」の推進(再掲)	2	4	4	ヶ所	町内4か所(石畑・三ツ池・吉田・雨降野) で宅老所を開設中。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		保健福祉課	C	6	集まる人が固定化されてきている。他の字への広がりが乏しい。		場所を活用し、催しものを開催しものをする等マンネリ化を防ぐ。保健師との連携をするなど介護予防講座などできるとよい。	
Action	方向性	保健福祉課	◎	区長等に限らず、実施主体になってもらえる団体への働きかけを充実させる。				

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

3 地域福祉の推進

		(5) 人にやさしい環境整備					
Plan	取組の概要	* 高齢者や障害者をはじめ、地域のすべての人にとって「やさしいまち」をめざし、ユニバーサルデザインを基本とした施設や公共空間の整備及び歩きやすい道づくりを進めます。					
	担当課	地域整備課 総務課					
Do	実績	課名	取組内容				
		地域整備課	段差のある歩道はなく、今後も歩きやすい道づくりを進めていく。				
		総務課	庁舎をはじめ必要なものについて行っていく。				
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)	
		地域整備課	B	—	今後もユニバーサルデザインに配慮した道路整備を進めていく。		
		総務課	B	6	学校等については一定の整備を行った。庁舎についてもトイレやスロープなどの対応済み。		
Action	方向性	地域整備課 総務課	◎				

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

3 地域福祉の推進

(6) 低所得者福祉の充実						
Plan	取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> * 低所得世帯の実態把握に努め、生活保護制度の適正な運用を図ります。 * 民生委員児童委員による相談活動や地域援護推進活動などの充実に努めます。 * 低所得世帯の自立を促す各種資金制度に関する情報提供を行い、その活用に努めます。 			
	担当課		保健福祉課			
Do	実績	課名	取組内容			
		保健福祉課	社会福祉協議会が窓口になり生活保護世帯に対し緊急的に支援をした。 (エアコンの取り付け)			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		保健福祉課	B	—	社会福祉協議会や民生委員児童委員との連携を強化し、相談活動等充実している。	
Action	方向性	保健福祉課	◎	さらに各種資金制度の情報提供に努める。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

4 高齢者福祉の充実

(1) 高齢者が安心して暮らせる高齢者福祉の充実						
Plan	取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> * 高齢者がいつまでも健康で暮らせるよう、介護予防に関する啓発や認知症予防・閉じこもり予防をはじめとする地域支援事業を進めます。(再掲) * 高齢者が要支援・要介護状態になっても、できる限り住み慣れた地域や家庭で暮らせるよう、適切な予防給付・介護給付の充実を図り、地域密着型サービスを含め介護サービス基盤の整備に努めます。(再掲) * 介護サービスのほかにも、食の自立支援の検討や外出支援など、一般福祉施策の充実を図ります。 * 高齢者が住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、地域や関係者・関係機関との連携を通じて、見守りや必要な支援を行える地域支え合いシステムの構築を図ります。 * 民生委員児童委員など関係者の連携により、寝たきりやひとり暮らし・高齢者世帯など援護を必要とする人への防災支援に努めます。 			
	担当課		医療保険課			
Do	実績	課名	取組内容			
		医療保険課	<p>【生活支援コーディネーターの設置】 設置数1人。 地域包括支援センター保健師が兼務しており、実質的な生活支援コーディネーターの採用はできていない。</p> <p>【生活支援サービスの整備】 H29年度より多職種協働会議にて生活支援サービスづくりに向けた検討を実施しているが、政策に結び付いた事業は今のところない。</p>			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		医療保険課	D	2	昨年度で退職となり職員が継続していない。	まず町として、どのようなまちづくりを行なっていくかを町全体で考える必要がある。町として方向性を決めたくうえで、必要な事業において人材を配置することが望ましい。
Action	方向性	医療保険課	◎	町の方針を決め、必要な事業をすべて町で実施するのではなく、必要時関係団体等に委託することも検討が必要。例えば…災害時の要援護者の対応など。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

4 高齢者福祉の充実

(2) 高齢者の社会参加の促進								
Plan	取組の概要		<p>* 老人クラブ活動を支援するとともに、多種多様な地域ボランティアの養成に努め、生涯学習や地域福祉など様々な分野における高齢者の社会参加を促進します。</p> <p>* 高齢者が地域の担い手として社会参加をめざす活動拠点の確保を図ります。</p> <p>* シルバー人材センターの活用やコミュニティ・ビジネスの育成、企業への働きかけなど、高齢者の知識・経験・技能を活かした就労・雇用の拡大に努めます。</p>					
	担当課		保健福祉課 産業振興課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		保健福祉課	【第4次計画】 シルバー人材セン ターに登録する人の 増加	118		100	人	
		保健福祉課	【第4次計画】 各種サークルに参加 する高齢者の増加	909		725	人	(老人クラブ加入者数)
	産業振興課	【総合戦略】 「いきがい協働セン ター」サロン年間利 用回数		38	40	回	一定の成果があった。	
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		保健福祉課	D	2 6	地域ボランティア養成する人材の不足。 老ク連、各字老人会への補助金のみでの支援にとどまっている。			
		産業振興課	C	6	認知がまだ少ない。周知が足りないのかもしれない。		広報等を利用し、まず認知度をあげる。	
Action	方向性	保健福祉課	◎					
		産業振興課	◎	まず認知度をあげるため、広報等に掲載することを考えていきたい。気軽に利用できるような取組も考えていくべきかもしれない。				

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

5 障害者福祉の充実

		(1) 障害者の理解促進			
Plan	取組の概要	* 障害のある人もない人もともに生活し、活動できる社会をめざすノーマライゼーションの理念に基づき、様々な啓発・広報及び交流活動により障害者の理解の促進を図ります。			
	担当課	保健福祉課			
Do	課名	取組内容			
	実績 保健福祉課	年1回湖東圏域（1市4町）で障害理解を深めるための講演会を実施している。 特定の者だけでなく、多くの住民が事業の関心を持ってもらうための工夫として、大型ショッピングモールにて開催をしている。			
Check	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
	達成状況 保健福祉課	A	—	年1回湖東圏域（1市4町）で障害理解を深めるための講演会を実施している。 特定の者だけでなく、多くの住民が事業の関心を持ってもらうための工夫として、大型ショッピングモールにて開催をしている。	
Action	方向性	保健福祉課	◎		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

5 障害者福祉の充実

(2) 情報提供・相談体制の整備					
Plan	取組の概要		* 情報提供体制の充実を図り、制度や福祉サービス等の周知に努めます。 * 地域で生活していく上で生じる様々な生活課題に対し、相談支援を充実することによって、安心して地域で暮らせるまちづくりを進めます。		
	担当課		保健福祉課		
Do	課名	取組内容			
	実績 保健福祉課	障害者手帳等の新規交付時に、各種障害に応じた制度をまとめた冊子を渡し、医療費の助成、補装具、日常生活用具の購入助成、各種交通機関の割引等対象者に応じ利用可能な制度の説明を随時行っている。			
Check	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
	達成状況 保健福祉課	B	—	障害者手帳等の新規交付時に、各種障害に応じた制度をまとめた冊子を渡し、医療費の助成、補装具、日常生活用具の購入助成、各種交通機関の割引等対象者に応じ利用可能な制度の説明を随時行っている。	
Action	方向性	保健福祉課	◎		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

5 障害者福祉の充実

(3) 地域支援体制の整備								
Plan	取組の概要		* 障害の有無に関わらず、誰もが互いに人格と個性を尊重し、支え合う「共生社会」を実現するため、住民の障害や障害者に対する理解を深めるとともに、地域住民がともに支え合い、助け合う地域づくりを進めます。 * 障害者一人ひとりが自己実現を図りながら、地域で安心して暮らせるよう、地域で支える支援体制づくりを進めます。					
	担当課		保健福祉課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		保健福祉課	【第4次計画】 障害者への 支援体制推進 (旧：障害者の介助に 関わるボランティアの 数)	35		充実		障がい者の介助に関わるボランティアの数を増大させるだけでなく、包括的に支援体制の充実を図る。
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		保健福祉課	A	—	いろいろな障害を持つ人たちやその家族との集団活動を通じ、メンバー相互の交流と仲間づくりを体験し、対人関係の改善を図るため『いきいきサロン』を実施している。 赤十字奉仕団や豊郷町ボランティア、民生委員児童委員の協力を得ながら、豊郷町社会福祉協議会に委託して事業を行っている。ふれあいプラザを拠点に調理実習、課外活動等を行っている。			
Action	方向性	保健福祉課	◎					

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくろう

5 障害者福祉の充実

Plan								
(4) 療育・教育の充実								
取組の概要		* 乳幼児期における障害の早期発見・早期療育への取り組みを進めるとともに、教育においては特別支援が必要な子ども一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばしていけるよう、きめ細かな指導や支援に努めます。 * 障害の早期発見・早期療育・教育それぞれの取り組みを充実しながら、関係機関が相互に連携をとることによって、障害のある子どもへの継続的な支援を進めます。						
担当課		医療保険課 保健福祉課 学校教育課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		医療保険課	【第4次計画】 個別支援計画 の策定(再掲)	—	—	有	有無	小学就学後の継続
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		医療保険課	A	—	母子保健事業において子どもの発達について支援が必要と考えられる場合には、乳幼児相談や発達相談、保健事業で実施している就園児の発達支援教室、療育教室などにおいて子どもや保護者への支援を実施している。また、継続して支援が必要なケースについては、保護者の同意のもと就学時に個別支援計画を作成し就学先への引継ぎを行なっている。			
		学校教育課	B	—	支援を要する児童生徒について個別に対応するため、特別支援教育支援員および介助員を配置している。			
Action	方向性	医療保険課	◎	発達支援の継続性の視点から、拠点となる部署(機関)が中心となり関係機関と連携していくことが望まれるが、現在拠点となるところが定まっておらず、各機関が相談窓口となり、必要時情報交換をしながら支援をしている状況である。発達支援の相談窓口・拠点として担当部署の設置が必要である。				
		学校教育課	◎					

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

5 障害者福祉の充実

(5) 保健・医療・福祉の充実						
Plan	取組の概要		* 障害者の多様なニーズに対応するため、医療・保健の充実を図りながら、保健・医療・福祉の連携を強化します。 * 障害者が自らの意思により居住する場所を選択し、できるだけ身近なところで必要なサービスを受けながら、自立と社会参加を図っていくことを基本として、障害福祉サービスの充実に努めます。 * 地域の社会資源を最大限に活用しながら、地域生活への移行や就労支援という課題に対応したサービス提供体制の整備を図ります。			
	担当課		保健福祉課			
Do	実績	課名	取組内容			
		保健福祉課	施設入所からの地域移行に係る相談件数 0件 (H29年度)			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		保健福祉課	B	—		
Action	方向性	保健福祉課	◎	居住の場の充実を図っていく。		

基本目標 3 いきいき安心の暮らしをつくらう

5 障害者福祉の充実

(6) 就労・雇用の促進						
Plan	取組の概要		<p>* 就労は、自立や社会参加のための重要な柱であることから、一人ひとりの能力を最大限に発揮し、社会生活を営むことができるよう、広く住民や町内の企業等に対して障害者雇用に対する理解を促進し、雇用の拡大を図るとともに、障害者が働きやすい環境づくりを促進します。</p> <p>* 社会福祉法人等、関係機関と連携した就労支援を推進し、多様な働き方を可能にする施策の充実を図ります。</p>			
	担当課		保健福祉課			
Do	実績	課名	取組内容			
		保健福祉課	福祉的就労から一般就労への移行数 0人 (H29年度)			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		保健福祉課	D	6	一般就労するためには、自立して生活できる力を養うことが必要。日常生活習慣を身に着けたり、働くうえで心の構えなどを学んだ上で働くことが必要。	各種助成制度を利用し、企業に対する支援を行うとともに、障害者雇用に関するノウハウの提供を推進する。トライアル雇用やジョブコーチの利用を推進するなど障害のある人の就労と職場定着に努める。
Action	方向性	保健福祉課	◎			

基本目標 4 互いにつながる地域社会をつくらう

1 コミュニティの充実

		(1) 自主的・主体的な集落活動に対する助成制度の確立と自治会の再編				
Plan	取組の概要	* 地区住民が主体となって行う集落事業に対し、支援を行い、自治会の活性化を図ります。 * 新たに転入してきた住民の増加によって自治会の運営が困難になっている自治会があるため、分区などの新たなコミュニティを創設することによって行政とコミュニティと自治会の新しい関係づくりを検討します。				
	担当課	総務課 企画振興課 住民生活課				
Do	実績	課名	取組内容			
		総務課	住宅開発により転入された住民の方々との自治会組織への加入や、住宅開発地での新たなコミュニティの創設についての相談はあるものの実行には至っていない。			
		企画振興課	頑張る自治会（ざいしょ）応援プログラム補助金交付制度や豊郷町コミュニティ助成事業補助金交付制度により、地域住民の集落事業を支援。活動休止の自治会があるため平成29年度の支援数は減っている。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		総務課	C	6	価値観の多様性ととも、行政主導型の限度があることから。	新たな住民の意見の一致があれば、行政としては認めざるを得ない。また、行政としても支援をしていかなければならないと思われる。
		企画振興課	A	—	頑張る自治会（ざいしょ）応援プログラム補助金については、各自治会からの補助金申請が恒例化している。十分に目的は達成されている。	
Action	方向性	総務課	◎			
		企画振興課	◎	十分に目的は達成されているが、有効な自治会への支援として今後とも続けていく必要がある。より充実したものになるよう制度の見直しも必要と思われる。		

基本目標 4 互いにつながる地域社会をつくらう

1 コミュニティの充実

		(2) 活動拠点の充実				
Plan	取組の概要	* 地区の活動拠点として役場などの行政施設を開放することで、いつでも行政と連絡を密にでき新たな事業開発に努めます。 * 隣接する自治会や問題を抱える自治会などが協同で事業を実施できるよう、自治会間の活性化と交流を促進します。				
	担当課	総務課 企画振興課				
Do	実績	課名	取組内容			
		総務課	【行政施設の地区活動への開放】 行政施設の開放についてはニーズがなかった。			
		企画振興課	【自治会間の交流の促進】 行政懇談会を合同で実施。地域の問題等の情報共有を図った。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		総務課	D	6	使用目的に合致する施設がなかった。	施設使用の周知を検討する。
		企画振興課	D	5		施策として、自治会間の交流をととして地域の活性化につながるような施策を検討する。
Action	方向性	総務課	△	施策の内容の検討が必要である。		
		企画振興課	△	施策内容の検討が必要である。		

基本目標 4 互いにつながる地域社会をつくらう

2 協働・参加の推進

(1) 全町ボランティアネットワークの形成								
Plan	取組の概要		* 社会福祉協議会などとの連携によって、まちづくりのさまざまな分野でのボランティア組織や個人参加を支援する組織を立ち上げ、全町的なボランティアネットワークの形成に努めます。					
	担当課		保健福祉課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		保健福祉課	【第4次計画】 全町的なボラン ティアネットワ ーク組織の設 置	—	—	—	—	
	保健福祉課	【第4次計画】 会員拡大	—	H25年度 に指標見 直し	—	—		
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		保健福祉課	D	1 6	豊郷町ボランティア協議会の強化が必要。新しい組織の開拓。	関心や意欲のある若年層の人材育成に支援をするための取り組みを行う。		
Action	方向性	保健福祉課	△	豊郷町ボランティア協議会の強化と活動の充実が必要。各団体の高齢化が課題。				

基本目標 4 互いにつながる地域社会をつくらう

2 協働・参加の推進

(2) ボランティアの育成と活動の普及						
Plan	取組の概要		* 研修や情報提供によってボランティアの育成と活動の普及を進めます。 * ボランティアに関心・意欲のある人が、自分に合った活動に参加できるようボランティアネットワークを活用していきます。			
	担当課		保健福祉課			
Do	実績	課名	取組内容			
		保健福祉課	ボランティアの高齢化で人数は減少しているものの新規事業も含めて活動はされている。 ボランティア・サークル登録数：平成26年度59人、平成29年度52人。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		保健福祉課	D	2	充実したあらゆる活動が難しい。	ボランティア活動について広く情報を発信する。
Action	方向性	保健福祉課	◎			

基本目標 4 互いにつながる地域社会をつくろう

2 協働・参加の推進

(3) 企業施設の地域開放と従業員の地域活動への参加促進								
Plan	取組の概要		* 町内企業の施設、人材、ノウハウを地域活動に開放し、協働でさまざまな取り組みを進められるしくみを築きます。 * 町内企業の従業員が地域ボランティア活動へ組織的に参加するよう促します。特に専門的技能を有する従業員が、地域生涯学習活動への講師として派遣されるよう、企業に働きかけます。					
	担当課		産業振興課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		産業振興課	【第4次計画】 地域ボランティアに 参加する企業数	14	H25年度 14	14	企業	増えるには至っていない。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		産業振興課	B	—	宇曾川クリーン作戦（一斉清掃）をはじめとする事業に積極的に参加する企業が増えた。イベントへの出店、事業所周辺の清掃活動などもある。			
Action	方向性	産業振興課	◎					

基本目標 4 互いにつながる地域社会をつくろう

3 共生のまちづくり

		(1) 男女共同参画意識の啓発				
Plan	取組の概要	* 学校教育、生涯学習活動、広報などを通じて男女共同参画意識の醸成を図ります。				
	担当課	人権政策課 学校教育課 社会教育課				
Do	実績	課名	取組内容			
		人権政策課	男女共同参画事業として、「料理教室」を取り組んでいる。年々男性の参加者が減り、事業が男女共同参画の事業の取り組み方の見直しが必要である。			
		社会教育課	人権学習講座や町民のつどいなどで、人権教育の一環として男女共同参画についても啓発している。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		人権政策課	C	—	—	—
		学校教育課	B	—	—	—
		社会教育課	B	—	講座等を通して男女共同参画意識の醸成を図った。	
Action	方向性	人権政策課	◎	男女共同参画を進めるためには、住民全体の意識を高める必要があり、啓発等の事業としての取り組みが必要である。そこで取り組み事業数を増やす必要があると考える。		
		学校教育課	◎	学習指導要領により進めていく。		
		社会教育課	◎			

基本目標 4 互いにつながる地域社会をつくらう

3 共生のまちづくり

		(2) 男女共同参画の推進						
Plan	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> * 各種審議会、委員会等への女性委員の登用を図り、まちづくりにおける女性の社会参画を進めます。 * 家庭生活と仕事が両立できる環境をつくるため、育児・介護を支援する各種サービスの充実を図ります。 * 職場における男女の雇用機会の均等が確保され、安心して働くことのできる就業環境づくりをめざして、関係機関と連携し企業などに啓発を行います。 * 男女共同参画社会に向けた地域における活動を促進するため、リーダーの育成などを支援します。 * 女性相談やひとり親家庭などを対象とした相談、支援を積極的に行います。 * ドメスティック・バイオレンスやセクシュアル・ハラスメントをはじめとする、男女間の暴力の根絶に向けた教育や啓発を進めるとともに、関係機関との連携により相談・支援体制の充実を図ります。 						
	担当課	人権政策課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		人権政策課	【第4次計画】 各種審議会委員会に おける女性の割合	10	—	33	%	各種審議会委員会では女性委員の登用を図るため啓発・研修等に取り組んでいる。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)			(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		人権政策課	C	6	女性の参画を進めるために原因を明確にし、 対策をとることが必要である。			各審議会、委員会において、会ごとに、女性の参画を妨げている原因を明確に見つけ対応することが必要である。
Action	方向性	人権政策課	◎	「どうしたいのか？」(施策)は、たくさん明記されているが「どうすればいいのか」(DO)の段階で、効果的な政策が展開できていない。施策を見て、ひとつひとつ効果的な事業展開を広げる必要があると思われる。				

基本目標 4 互いにつながる地域社会をつくらう

3 共生のまちづくり

		(3) 人権意識の啓発・相談活動の推進				
Plan	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> * 暮らしの中にある人権問題について学習を深め、住民一人ひとりの人権が尊重される社会づくりに向けて啓発活動を推進します。 * 同和問題啓発強調月間や人権週間など時機を捉えた人権関連記事を広報に掲載するとともに、懸垂幕の掲揚、啓発用品の配布など、創意工夫をこらした啓発活動の推進に努めます。 * 小・中学校の人権作文集を刊行するなど、研修教材の充実に努めます。 * 関係機関や人権擁護委員、民生委員・児童委員との連携によって、人権擁護活動を担う指導者や人材を育成します。 * 人権擁護推進員等の研修を行います。 * 人権啓発・人権相談所の充実に努めます。 * 企業に対する人権問題研修会を開催し、一層の研修活動の充実に促します。 * 町職員の人権意識の一層の向上のため、研修機会の充実に努めます。 				
	担当課	人権政策課 社会教育課 産業振興課				
Do	実績	課名	取組内容			
		人権政策課	人権啓発事業として、人権啓発活動、研修事業と年6回の人権学習講座、人権相談事業等、様々な活動を展開している。			
		社会教育課	人権啓発事業への参加者数：平成26年度789人、平成29年度591人。 社会教育関係の事業(人権教育推進協議会で実施した町民のつどい・人権学習講座・愛知犬上人権教育研究大会・滋賀県人権教育研究大会)の参加人数。			
		産業振興課	企業訪問の実施：平成29年度22企業、例年約20企業。 啓発月間である7月に町内企業を訪問し、採用時の公正性や人権啓発への取り組みをヒアリングを行う。その上で、問題がある企業については、指導する。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		人権政策課	B	—	人権事業として、様々な活動を展開している。成果としては、評価をどう見るか難しいと思われる。様々な活動を活発に取り組み、参加者多数でしたので一定の目的、評価が得られたと思う。	
		社会教育課	B	—	人権意識の啓発を行った。	
		産業振興課	A	—	町内の20名以上雇用されている事業所を中心に事業所を訪問し、ヒアリングを実施した。	
Action	方向性	人権政策課	◎	第4次総合計画の、4-3-(4)人権教育の推進と連動している部分があり、第5次計画に向けて重複していないか再検討が必要と思われる。		
		社会教育課	◎			
		産業振興課	◎			

基本目標 4 互いにつながる地域社会をつくらう

3 共生のまちづくり

		(4) 人権教育の推進				
Plan	取組の概要	* 同和問題をはじめとする人権問題の重要性を確認・認識する人権教育を学校、地域、企業の中で計画的に推進します。 * 関係機関・団体等と連携を密にし、人権が尊重される社会をめざした人権教育・実践活動を計画的に推進します。 * 人権教育活動を地域、企業で進めるためのリーダーの育成研修に努めます。				
	担当課	人権政策課 産業振興課				
Do	実績	課名	取組内容			
		人権政策課	人権教育、リーダー育成等の研修・講座を開催し、人権教育の推進を図る。 人権講座の参加者数：平成29年度416人、6講座。			
		産業振興課	事業主・窓口担当者およびリーダー養成等の研修会として、犬上郡3町の企業を合同で実施した。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		人権政策課	B	—	人権事業として、様々な活動を展開している。成果としては、評価をどう見るか難しいと思われる。様々な活動を活発に取り組み、参加者多数でしたので一定の目的、評価が得られたと思う。	
		産業振興課	A	—	犬上郡内の3町の企業に呼びかけて、合同で研修会を開催した。	
Action	方向性	人権政策課	◎	第4次総合計画の、4-3-(3)人権意識の啓発・相談活動と連動している部分があり、第5次計画に向けて重複していないか再検討が必要と思われる。		
		産業振興課	◎			

基本目標 4 互いにつながる地域社会をつくらう

3 共生のまちづくり

		(5) 平和意識の啓発活動の推進				
Plan	取組の概要	* 一人ひとりが世界平和に対する深い認識や正しい理解を持てるよう、恒久平和宣言に基づき、家庭、学校、職場、地域などのあらゆる場で教育・啓発の展開に努めます。				
	担当課	総務課 学校教育課 人権政策課（隣保館）				
Do	実績	課名	取組内容			
		総務課	非核三原則を堅持し、核兵器廃絶を目指して広く訴えている。また、8月6日および9日には、黙とうの励行を行っている。			
		人権政策課	隣保館主催で、役場ロビーにてお盆までの期間中平和パネルのブースを設け啓発を図っている。			
		学校教育課	校外学習・授業で平和学習を実施した。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		総務課	B	—	この施策については、評価が難しい。続けることが大切だ。	
		人権政策課	B	—	校外学習・授業で平和学習を実施した。	
		学校教育課	B	—	校外学習・授業で平和学習を実施した。	
Action	方向性	総務課	◎			
		人権政策課	◎			
		学校教育課	◎			

基本目標 4 互いにつながる地域社会をつくらう

3 共生のまちづくり

Plan								
(6) 国際理解と交流活動の推進								
取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> * 学校教育において、ALTによる語学及び国際理解学習を進めるなど、国際感覚を持った人材の育成を図ります。 * 国際化する社会において、日本人として自己の確立を図ることができる学校教育の充実を図ります。 * 県内のミシガン大学や滋賀県立大学の留学生との交流事業の実施を検討し、地域社会や各種団体、グループ、家庭レベルでの国際交流の展開に努めます。 * 住民の国際ボランティア活動への参加を促すなど、国際協力活動の推進について検討します。 						
担当課		産業振興課 学校教育課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		学校教育課	【第4次計画】 ALT等を活用した社 会教育事業における 国際理解のための学 習機会の開催	36	—	—	回/ 年	
			【第4次計画】 両保育園、幼稚園に むけた国際理解のた めの学習機会の充実 を図る	—	↓	H25年度 に指標見 直し	一定充実	
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		産業振興課	D	6	外国人との接点がなく、提供するまでも至らなかった。			ALTなどを通じ、外国人との接点を持ち、聞き取り調査などを行う。
		学校教育課	A	—	ALTを各小学校、中学校に1人ずつ配置し、国際理解学習の充実に努めた。			
Action	方向性	産業振興課	—	国際交流地域連絡協議会に加入しているが、実態は、不法就労状況および不法滞在等の状況の情報を得ているのみであるため、事業の実施まで至らない。				
		学校教育課	◎	指標については見直しが必要である。				

基本目標 4 互いにつながる地域社会をつくらう

3 共生のまちづくり

(7) 外国人が生活しやすい地域環境の整備						
Plan	取組の概要		* 増加する外国籍の住民に配慮し、道路、公共施設、交通機関等の標識や案内板の外国語併記、図案表示等を検討します。 * 外国語による生活情報の提供等に努めます。 * ボランティア通訳やガイド等の発掘・登録に努めます。			
	担当課		住民生活課 地域整備課			
Do	実績	課名	取組内容			
		住民生活課	ボランティア通訳やガイドについて、役場には設置されていない。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		地域整備課	D	1	外国人の旅客数の調査とともに外国人が外国語併記を求めているか調査ができていない。	
Action	方向性	地域整備課	×			
		住民生活課	△	増加している外国籍住民への情報提供・相談支援の体制ができていないが、今後必要。		

基本目標 5 まちを支える産業を築こう

1 農業の振興

		(1) 農業経営基盤強化の促進と認定農業者や集落営農組織への支援の強化						
Plan	取組の概要	* 農業経営基盤の強化を図るため、その基本構想の具体的あり方を検討し、計画的な活動を展開します。 * 経営改善支援センター等の充実を図り、経営体育成のための相談体制の充実と研修会、広報活動等を推進します。 * 効率的かつ安定的な農業経営体の育成を図るため、認定農業者や集落営農組織への農地利用集積を支援します。 * 農業経営や農産物販売等への女性の参画促進を図ります。						
	担当課	産業振興課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		産業振興課	【第4次計画】 集落営農の法人化	2	6	6	法人	土地改良区域の6集落については、法人化ができた。
			【総合戦略】 農業の担い手数	—	21	21	人	新たな担い手の確保が難しく、増やすことができなかった。
			【総合戦略】 就農者の数	—	344		人	農業者の高齢化等に伴い、就農者はどうしても減っていく傾向がある。
	【総合戦略】 農地を担い手へ集積 させる	—	↓ 平成29年 度指に標 見直し	64%	%	担い手等へ農地を集積させて、遊休農地等を増やさないようにしていく。		
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		産業振興課	B	—	法人化及び担い手については一定の目標を達成した。法人化により経営意識等ができており、良い成果が出てきているといえる。農業者の高齢化に伴い、就農者はどうしても減っていく傾向がある。これは日本の現状から増加させることはなかなか難しい。人数は減っているが担い手へ集積され遊休農地にならず維持されている。			
Action	方向性	産業振興課	◎	就農者数については減少することは避けられない。就農者数ではなく離農等された土地を集積させ、遊休農地の発生を防ぐ事を指標にする方が良い。法人目標は増加は難しいため、変更。案①法人・農業団体への相談体制の充実と研修会、広報活動（現状は農産普及課・湖東地域農業センター主催）。案②施策について他の指標は判断可能なため指標の増加はせず、法人目標を削除する。				

基本目標 5 まちを支える産業を築こう

1 農業の振興

		(2) 高収益作物・作型の導入・推進						
Plan	取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> * 周年栽培、高品質生産のための施設栽培の推進を支援します。 * 環境や健康に配慮した農業を推進するために、環境保全型農業の推進に努めます。 * 農産物販売の活性化と地産地消の推進を図るため、町内の商店やまちなか商業の再生と連携した直売などの場づくりを支援します。 * 農業関連団体との連携を強化し、高収益作物・作型の産地化を図ります。 						
	担当課	産業振興課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		産業振興課	【第4次計画】 こだわり米づくりの 推進	266	—	148	ha	取組内容に負担が大きく、また個人の農業者のうち高齢化等に伴い、取組人数が減り、耕作面積も減少した。
			【第4次計画】 坊ちゃんかぼちゃ生 産の増加	60	—	170	a	農家の協力を得ながら坊ちゃんかぼちゃの認知度が増えたことで、生産の増加につなげることができた。
【総合戦略】 野菜出荷額	—	2	2.5	千万 円	野菜の出荷は徐々に増えており、米から転換し野菜を育てる農業者が増えてきた。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
	産業振興課	B	—	坊ちゃんかぼちゃの生産が増加しており、特産物や環境等に配慮した農作業に励んでいた。結果として町の特産物である坊ちゃんかぼちゃへの認知も増やすことができた。また、野菜の出荷額も増加傾向にあり、高収益作物への取組及び出荷してくれるようになってきている。 こだわり米づくりに関しては、取組要件が手間がかかるため、取組者が減る傾向にある。しかしながら、こだわりの米づくりの取組自体は環境や品質に配慮されたよい取組である。				
Action	方向性	産業振興課	◎	本施策は今後も継続し成果を向上させていきたい。指標のこだわり米づくりについては、現状減っているものの取組自体は良い取組であり、今後も推進するよう努めたい。				

基本目標 5 まちを支える産業を築こう

1 農業の振興

(3) 農業生産基盤の整備								
Plan	取組の概要		* 農業農村整備事業などの推進を通じて、土地の利用集積や集落営農の育成等に努めます。					
	担当課		産業振興課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		産業振興課	【総合戦略(変更)】 農地を担い手へ 集積させる	—	—	64%	%	担い手等へ農地を集積させて、遊休農地等を 増やさないようにしていく。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		産業振興課	A	—	担い手等へ農地を集積ができており、遊休農地等を増やさないように農地の管理ができてい る。			
Action	方向性	産業振興課	△	評価指標は、5-1-(1)の主要施策とかぶる。また、施策の概要も5-1-(1)と同 じようなものともとらえられる。そのため、施策を1つにまとめてもいいと考えられる。				

基本目標 5 まちを支える産業を築こう

2 地域産業の振興

		(1) 既存産業の育成				
Plan	取組の概要	* 商工会と連携し、既存中小企業の経営基盤強化と育成支援について、経営指導の充実、制度資金の活用など、より効率的な対策に努めます。				
	担当課	産業振興課				
Do	実績	課名	取組内容			
		産業振興課	経営改善等に関する相談件数：平成29年度1,618件。 商工会の経営指導員が対応した経営指導をはじめとする対象企業から相談があった件数。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		産業振興課	A	—	商工会の経営指導員による巡回指導202社および窓口指導144社の対象企業の経営を始め税務や労働をはじめとする相談数。 相談件数は巡回指導の際による相談で969件、窓口での相談で649件、合計1,618件の相談があり、町内企業の悩みを改善した。	
Action	方向性	産業振興課	◎			

基本目標 5 まちを支える産業を築こう

2 地域産業の振興

		(2) 商業の振興						
Plan	取組の概要	* 歴史景観や近江商人発祥の地等の特性を活かした街なみ景観と調和した環境整備と休憩施設の確保など、魅力ある中山道商店街の振興に努めます。 * 豊郷駅や豊郷病院周辺において、高齢者が安心して買い物できるまちなか商業の再生を図るため民間主導の事業展開を支援します。 * 国道沿線における商業・沿道サービスの振興を図ります。						
	担当課	産業振興課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		産業振興課	【第4次計画】 商品販売額の増加	129	167.8	H28年度 156	億円	目標達成している。
			取組内容					
		豊郷駅周辺の事業展開支援については、相談等なし。						
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		産業振興課	A	—	商品販売額の増加については目標達成している。			
D	6		(豊郷駅や豊郷病院周辺について) 新規で始めることを考えている方がいない。 既存の商店においてもそういった相談が無かった。		補助金など始めるきっかけをつくる。相談の対応。			
Action	方向性	産業振興課	◎					
			×	豊郷駅や豊郷病院周辺においての商業振興はニーズに合わせて検討。				

基本目標 5 まちを支える産業を築こう

2 地域産業の振興

Plan								
(3) 観光振興方針の確立と観光拠点の整備促進								
Plan	取組の概要		<p>* 本町の総合的な観光振興を進めるために、「中山道ミュージアム構想」を軸とした観光振興方針の確立に努めます。</p> <p>* その中心的拠点や仕組みとして、豊郷小学校旧校舎の保存・活用の一環として「中山道ミュージアムセンター」の整備を図ります。</p>					
	担当課		産業振興課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		産業振興課	【第4次計画】 【総合戦略】 観光入込客数の増加	4	7.0	16	万人	年を重ねるごとに観光客が増加し、計画をはるかに超える観光客が訪れた。
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		産業振興課	A	—	県や一般企業の発行している観光情報雑誌に情報を掲載したほか、豊郷小学校旧校舎群を観光地の中心として活用し、イベントや情報の発信を行ったことにより、町内観光施設への観光入込客数が増加、外国人観光客も多く訪れるようになった。			
Action	方向性	産業振興課	◎					

基本目標 5 まちを支える産業を築こう

2 地域産業の振興

(4) 多様な観光資源の活用					
Plan	取組の概要		* 商工会や農業関係団体と連携し、観光と一体となった商業振興や、農業と連携した魅力ある特産品開発を促進します。 * 江州音頭等の伝統芸能や伝統行事の保存継承に努めるとともに、新たなイベントの創出を図ります。		
	担当課		産業振興課		
Do	実績	課名	取組内容		
		産業振興課	豊郷小学校旧校舎群を活用したイベントを商工会や観光協会と連携して実施。 新たに開発された観光資源（平成20年度以降）：平成29年度3件。		
		豊郷町の特産品である坊ちゃんかぼちゃ（とよ坊かぼちゃん）を使用したスイーツを開発した。 特産品を活用した商品の開発：2品。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果) (C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		産業振興課	A	—	豊郷小学校旧校舎群を使用し、商工会や観光協会と連携しイベントを開催。 それにより、多くの観光客が訪れるようになった。 豊郷町の特産品であるとよ坊かぼちゃん（坊ちゃんかぼちゃん）を使ったスイーツ「かぼちゃプリン」と「パンプキンどらやき」を開発、県内外の店舗に納品しており、県外の観光PRイベントで出品した際はリピーターが出るほどの人気商品となった。 また、「かぼちゃプリン」については、「第3回介護食品（スマイルケア食）コンクール」で大手食品メーカーが参加する中、最優秀賞にあたる農林水産大臣賞を受賞した。
Action	方向性	産業振興課	◎		

基本目標 5 まちを支える産業を築こう

2 地域産業の振興

(5) 広域観光推進体制の強化						
Plan	取組の概要		* 広域的連携体制強化を図り、広域観光ルートの設定や広域イベント事業の創出など、広域観光事業（近江湖東路ブランド事業）へ積極的に参加し、連携を強めます。			
	担当課		産業振興課			
Do	実績	課名	取組内容			
		産業振興課	湖東定住自立圏で連携して行なっているレンタサイクル事業「めぐりんこ」や県外への観光PRイベントへの参加を実施した。 広域観光イベント数：平成29年度3件。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		産業振興課	A	—	湖東定住自立圏で行なっているレンタサイクル「めぐりんこ」を活用したスタンプラリーイベントをびわこ湖東路観光協議会で開催した。その他、「めぐりんこ」を活用した湖東地域のサイクリングルートの造成を行なった。 また、同じくびわこ湖東路観光協議会で滋賀県が主催で行なう県外観光PRイベントへ参加しPRを行ない、結果、そのPRイベントに来ていた客が豊郷町に訪れるという事があった。	
Action	方向性	産業振興課	◎			

基本目標 5 まちを支える産業を築こう

3 新産業の創出と雇用対策の充実

(1) 企業誘致の推進						
Plan	取組の概要		* 小規模・中規模工場用地を活用した誘致活動の推進に努めます。 * (仮称)湖東三山インターチェンジへのアクセスを活かした産業誘導を推進し、雇用対策の強化に取り組めます。			
	担当課		企画振興課 産業振興課			
Do	実績	課名	取組内容			
		企画振興課 産業振興課	現状、施策として企業誘致は行っていない。企業誘致に相応しい場所がなく、豊郷町元来の景観の維持などを考えると誘致は難しい。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		企画振興課	D	3	企業誘致に相応しい場所がない。	場所もなく、元来の景観の維持等踏まえると実現は難しい。
		産業振興課	D	3	新規で工場等が建設できるような土地が少ない。	廃業した工場や企業があれば、そこに新規の工場等を誘致しやすくなるが、現実的ではない。
Action	方向性	企画振興課	×	事業の必要性は薄い。 テレワーク環境など、「雇用の創出」のための施策へ移行させる。		
		産業振興課	×	田んぼを埋め工場を建てる等方法はあるが、農地を守っていくという方針がある以上簡単に新しく誘致し建てることは難しい。		

基本目標 5 まちを支える産業を築こう

3 新産業の創出と雇用対策の充実

(2) 雇用の安定								
Plan	取組の概要		* 雇用就業機会の確保を図るため、研修機会の充実、就労相談体制・職業情報提供の充実に努めます。 * ハローワーク等関係機関と連携し、若者の雇用就業機会の確保に努め、定住とUターンの促進を図ります。 * 就労者に対する各種余暇情報の提供に努めるとともに、活動の場づくりや場の確保・拡充を図ります。					
	担当課		企画振興課 産業振興課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		企画振興課	【第4次計画】 町内従業率の向上	39.2		52.7	%	平成27年国勢調査。就業者3,284人、労働力状態(15歳以上)6,232人。(就業率)
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		産業振興課	C		起業セミナーを実施。		商工会と連携し、ニーズの掘り起こしが必要。	
Action	方向性	企画振興課	◎					

基本目標 6 まちを支える基盤を築こう

1 計画的な土地利用の推進

		(1) 土地利用計画の策定						
Plan	取組の概要	* 農業的土地利用と都市的土地利用の調和のとれた秩序ある土地利用を推進するための指針となる土地利用計画、農業振興地域整備計画、都市計画マスタープランの策定を図ります。 * 市街地における用途地域指定の検討を進めます。						
	担当課	企画振興課 産業振興課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		企画振興課	【第4次計画】 土地利用計画の策定	—	—	—	有無	平成22年に国土利用計画(豊郷町計画)が終了。以後、豊郷町では都市計画を定めておらず、非線引きであり、土地利用計画を定めても効果が薄いと判断して計画を定めていない。
	課名	取組内容						
	産業振興課	農業振興地域整備計画を平成25年度に改定した。						
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		企画振興課	D	6	土地利用計画を定めても効果が薄い。		定める必要性がない。	
		産業振興課	A	—	平成25年度に改定ができた。			
Action	方向性	企画振興課	△	内容の検討が必要である。				
		産業振興課	◎	<ul style="list-style-type: none"> 第4次総合計画策定時から生活スタイルが変化しており、それに伴い土地の利用状況も変化している。そのことを第5次総合計画で反映するか検討する。 毎年、除外申請が出されており、特に新幹線から国道8号線側と字の住宅地内にある農用地等は除外を検討する必要がある。 				

基本目標 6 まちを支える基盤を築こう

1 計画的な土地利用の推進

		(2) 調和のとれた土地利用への誘導				
Plan	取組の概要	* 各種法令及び条例・要綱等により、農業的土地利用及び都市的土地利用と自然生態系との調和のとれた土地利用を進めます。				
	担当課	企画振興課				
Do	実績	課名	取組内容			
		企画振興課	-			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		企画振興課	B	-	-	-
Action	方向性	企画振興課	◎			

基本目標 6 まちを支える基盤を築こう

1 計画的な土地利用の推進

		(3) 国土調査の促進			
Plan	取組の概要	* 土地利用を推進するための基礎的施策として、地籍調査を今後とも計画的に進めます。			
	担当課	地域整備課			
Do	実績	課名	取組内容		
		地域整備課	平成26年度から雨降野の地籍調査事業を実施し、現在、四十九院、吉田が地籍調査事業を実施している。		
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果) (C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		地域整備課	A	—	地籍調査事業を実施することにより、土地所有者の境界が明確となることで土地への問題が解決することが多く見受けられる。地籍調査の成果は、座標で管理されていることから、被災後の復旧が可能となった。また、自治会内の土地利用を実施する際に、地籍調査の成果を用いることにより、測量に手間取ることがなく、速やかに土地利用を実施することが可能となる。
Action	方向性	地域整備課	◎		

基本目標 6 まちを支える基盤を築こう

2 道路交通網の整備

		(1) 全町的な道路整備計画の策定と計画的な整備推進						
Plan	取組の概要	* 本町内道路交通網の長期的整備の指針となる道路整備計画を策定し、計画的な整備を推進します。						
	担当課	地域整備課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		地域整備課	【第4次計画】 道路整備計画の策定	—	策定	策定	—	町道の維持補修に関して計画的に施策を実施する。
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)			(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		地域整備課	A	—	平成29年度に道路整備計画の見直しを実施した。道路整備計画の策定により、道路の老朽箇所や補修を要する箇所が明確化され、計画的な道路整備が実施できた。			
Action	方向性	地域整備課	◎					

基本目標 6 まちを支える基盤を築こう

2 道路交通網の整備

(2) 幹線道路の整備								
Plan	取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> * 本町の中心軸である国道8号の歩道の設置を含めた改良整備を促進します。 * 主要道路である県道の改良整備を促進するとともに、(仮称)湖東三山インターチェンジへのアクセス道路の整備促進を図ります。 * 近江鉄道の東側において、南北を結ぶ道路の整備を図ります。 * これら幹線道路の整備にあたっては、歩道の設置やバリアフリー化などによって、誰もが安心して利用できる道路環境となるよう努めます。 					
	担当課		地域整備課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		地域整備課	【第4次計画】 歩道の設置	270	H25年度 1,900	4,084	m	現在、町道に設置されている歩道は、4083.8mである。今後も歩行者の安全を確保するために歩道の設置を要する。
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		地域整備課	A	—	<p>県道の道路整備については、交通安全プログラム2018で県道北落豊郷線で豊日中学校から中山道の交差点までの間に歩道整備の事業検討路線として定められている。この路線は、湖東三山インターチェンジのアクセス道路として目加田バイパスが完成すると大型車の交通量が増えることから、歩道の設置や交差点改良の整備を県土木事務所に要望している。また、県道松尾寺豊郷線では、下枝の交差点から国道8号線までの間の歩道が一部未設置となっているが、県への歩道設置の要望により、全線開通されるよう歩道整備工事が実施されている。町道の歩道については、歌詰橋補修・補強に伴い、歩行者の安全通行を確保するために歩道橋の設置の設計を実施している。町道の歩道整備は、通学路安全プログラムに基づき、可能な限り歩道の設置に取り組んでいく。</p>			
Action	方向性	地域整備課	◎	<p>数値の設定が曖昧であるため、具体的な数値を用いる必要がある。</p> <p>これまでのところ、子どもの安全確保の観点から通学路を中心に整備を進めているが、今後、高齢者の安全確保の観点からの整備も必要である。</p>				

基本目標 6 まちを支える基盤を築こう

2 道路交通網の整備

(3) 生活道路の整備推進					
Plan	取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> * 集落内・集落間町道などの生活道路について、良好な維持管理に努めるとともに、未改良区間の改良・舗装等を計画的に進めます。 * 通学路をはじめ、歩道の設置、交差点の改良、防護柵の設置など安全対策を計画的に進めます。 * 集落内排水溝の改良・整備を計画的に進めます。 		
	担当課		地域整備課		
Do	課名	取組内容			
	実績	地域整備課	自治会の要望や道路補修計画に基づき、町道の維持管理を実施している。また、通学路安全プログラムに基づき、道路整備および歩道整備を実施している。		
Check	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
	達成状況	地域整備課	B	—	道路補修計画や通学路安全プログラムにより道路整備を実施した。今後も継続して道路整備を実施する必要がある。
Action	方向性	地域整備課	◎		

基本目標 6 まちを支える基盤を築こう

2 道路交通網の整備

(4) 公共交通の利便性の向上								
Plan	取組の概要		<ul style="list-style-type: none"> * 路線バスについては住民に対してバス利用の促進を働きかけるとともに、広域的な連携のもとに維持確保に努めます。 * 高齢者の外出支援サービスの維持を図るとともに、介護タクシーの利用支援など多様な移動手段の確保に努めます。 * びわこ京阪奈線(仮称) 鉄道建設構想実現に向け、周辺圏域との連携を図り、事業の促進を関係機関に働きかけます。 					
	担当課		企画振興課 医療保険課 保健福祉課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		企画振興課	【総合戦略】 「愛のりタクシー」 1市4町の年間利用 者数	—	12,514	34,688	人	湖東圏域（彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町）における公共交通サービスとして予約型乗合タクシー「愛のりタクシー」を運行。利用者は年々増加している。
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		企画振興課	A	—	情報提供や自主返納者支援制度等による各種取組により、課題に対する成果としては達成できているが、公共交通機関としての利便性の向上、効率的な運行のため、乗合率の向上など新たな指標を考える必要がある。			
Action	方向性	企画振興課	◎	年間利用者数は順調に伸びているが、今後はさらに、愛のりタクシーの情報を提供することで、利用者だけでなく、乗合率の向上等を見越す必要がある。湖東圏域公共交通活性化協議会で平成29年度に策定した湖東圏域公共交通網形成計画における平成35年度までの乗合率の目標値は1.8になっている。				

基本目標 6 まちを支える基盤を築こう

3 情報通信基盤の整備

		(1) 地域情報化の推進						
Plan	取組の概要	* ITの進展を活かし、高度情報化社会に対応するため、行政内部をはじめ地域情報化に向けての総合的な研究を進めます。 * 住民の利便性の向上と窓口サービスの省力化のために電子申請システム導入を検討します。 * 既存情報システムとして、必要な更新を加えながら防災行政無線の有効活用を図ります。 * 情報化の進展にともなう弊害が生じないよう、住民のプライバシー保護体制の充実、セキュリティの確保を図ります。						
	担当課	企画振興課 総務課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		企画振興課	【第4次計画】 電子申請システムの 導入	—	実施	実施	有無	電子申請一部実施 (etax、ふるさと納税)。
	課名	取組内容						
	総務課	【個人情報保護条例の整備】 国の法改正に併せて随時改正を行い、住民の個人情報保護に努めている。また、マイナンバーの利用が開始され、安全に取扱いされているか等の確認が出来るよう規程を作成した。						
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		企画振興課	B	—	部分的に実施。 ふるさと納税については、電子申請による受付を含めて平成29年度は5731件、103,683,501円の寄付があった。			
		総務課	A	—	職員がどのように個人情報を取扱うか一定の基準を定めることにより、庁内全体で相違が生じることがないように統一を図ることができた。			
Action	方向性	企画振興課	◎	子育てワンストップサービス等電子サービスを導入する余地はあるものの、本町は小規模自治体であり、窓口で対応した方が良いものについては、無理に電子申請を導入する必要性は薄い。利便性を高めるものについて電子化を図る。				
		総務課	◎					

基本目標 6 まちを支える基盤を築こう

3 情報通信基盤の整備

		(2) 情報化に対応した教育などの推進					
Plan	取組の概要	* 住民が情報化の恩恵を受けるとともに情報モラルを高めることができるよう、地域の生涯学習活動や学校教育においてIT教育の充実に努めます。					
	担当課	学校教育課 社会教育課					
Do	実績	課名	取組内容				
		学校教育課	随時、小中学校の情報教育環境の充実に努めた（普通教室への教室プロジェクタシステム導入、タブレット導入）。				
		社会教育課	生涯学習活動においてはIT教育は行っていないが情報モラルの向上を図った。				
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		学校教育課	B	—	随時、小中学校の情報教育環境の充実に努めた（普通教室への教室プロジェクタシステム導入、教師へのタブレット導入）。		
		社会教育課	C	2 6	IT教育を行える人材が少ない。 教育を行うための機材が揃えられない。	人材の確保と機材を揃える。	
Action	方向性	学校教育課	◎				
		社会教育課	△	情報モラルを高める教育の推進。			

基本目標 7 未来のための環境をまもろう

1 環境保全の推進

(1) 環境基本計画（仮称）の策定と推進						
Plan	取組の概要		* 自然環境の保全、地球温暖化対策の推進、資源循環型の社会の形成など、本町の良好な環境の保全と創造に関する方針を定める環境基本計画（仮称）の策定を住民参加のもとに進め、住民・事業者・行政の協働で計画の推進を図ります。			
	担当課		住民生活課			
Do	実績	課名	取組内容			
		住民生活課	環境基本計画については未策定である。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		住民生活課	—	—	太陽光パネルの設置補助や、みどりのカーテンの設置促進などを行っている。	
Action	方向性	住民生活課	×	計画を策定しなくても環境保全の取組を行ってきたし、今後も取組できる。		

基本目標 7 未来のための環境をまもろう

1 環境保全の推進

(2) 自然環境保全活動の充実								
Plan	取組の概要		* 自然をできるだけ維持・保全するため、地権者や関係機関に働きかけて地域ぐるみで自然環境の保全に努めます。 * 公園・緑地・水辺等の整備にあたっては、自然をできるだけ残し、自然と親しむ場を多く設けられるよう努めます。					
	担当課		住民生活課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		住民生活課	【第4次計画】 ホテルが見られる場 所の増加	1	H25年度 2	—	か所	町内に複数生息しているが、指標の根拠等が曖昧であり、見直しが必要。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		住民生活課	—	—	吉田では、河川愛護活動が継続的に行われている。 公園・緑地・水辺等の整備については、整備そのものがなかった。			
Action	方向性	住民生活課	△					

基本目標 7 未来のための環境をまもろう

1 環境保全の推進

(3) 環境美化意識の高揚と町民運動への支援強化								
Plan	取組の概要		* 町民一人ひとりが、快適な環境の保持に配慮した行動を心掛けるよう、環境教育の充実や町民総参加型のイベント開催を通じて、環境美化意識の高揚を図ります。 * 現在実施されている水環境を守る運動や一斉清掃運動など、住民の主体的な環境美化活動等の支援を強化し、その普及・拡大に努めます。					
	担当課		住民生活課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		住民生活課	【第4次計画】 宇曽川美化活動への 参加促進	300		276	人	河川や道路への愛護・美化思想の普及とごみの不法投棄防止の啓発を図る。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		住民生活課	A	—	毎年一定の参加人数が得られ、宇曽川の美化に役立っている。			
Action	方向性	住民生活課	◎					

基本目標 7 未来のための環境をまもろう

1 環境保全の推進

(4) 公害防止策の強化						
Plan	取組の概要		* 住民の日常生活から発生する生活型公害の防止を図るため、住民の意識啓発のためのPR活動に努めるとともに環境パトロールによって不法投棄の防止等に努めます。 * 事業所等との公害防止協定の締結や公害防止施設の整備要請など、適切な指導に努めます。 * 住民の生活環境にかかる被害を防ぎ、良好な環境を次代の子どもたちに残すため、公害防止のための迅速な対応に心がけるとともに事業所等への啓発・指導に努めます。			
	担当課		住民生活課			
Do	実績	課名	取組内容			
		住民生活課	公害発生件数は、0件（平成29年度）。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		住民生活課	B	—	環境パトロールによる不法投棄の防止に取り組んでいる。	
Action	方向性	住民生活課	◎	公害の発生はこれまでのところないが、防止の取り組みは今後も必要である。		

基本目標 7 未来のための環境をまもろう

2 循環型社会の形成

(1) ごみの適正処理の推進						
Plan	取組の概要		* ごみの排出量の増大やダイオキシン排出基準等に対応した適正処理が進められるよう、今後とも広域連携を図って処理施設や処分場の整備・充実に努めます。 * 今後のごみの排出動向に的確に対応するとともに容器包装リサイクル等への適切な対応を図るため、収集・分別排出体制の充実や中間処理施設の整備等に努めます。 * ごみの不法投棄の防止を図るため、不法投棄監視員の活動強化等に努めます。			
	担当課		住民生活課			
Do	実績	課名	取組内容			
		住民生活課	町内の不法投棄の見回りや啓発を行っている。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		住民生活課	A	—	不法投棄は完全になくなってはいないが、徐々に減っており、一定の成果が得られている。	
Action	方向性	住民生活課	◎	彦愛犬での広域処理施設として、新たな処理施設の検討がされている。		

基本目標 7 未来のための環境をまもろう

2 循環型社会の形成

(2) ごみの減量化、再資源化の推進							
Plan	取組の概要		<p>* 循環型社会の形成をめざし、日頃の暮らしを見直した「エコライフ」の実践と「グリーン購入※」、生ごみの土壌還元化の推進によって、ごみの減量化・再資源化に努めます。</p> <p>* ごみの減量化やリサイクルに対する住民への広報・啓発活動を充実し、意識の高揚を図るとともに、廃棄物減量等推進協議会活動の充実・強化等を図ってごみ減量運動やリサイクル運動の拡充に努めます。</p>				
	担当課		住民生活課				
Do	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
	実績 住民生活課	【第4次計画】 住民1人が1日に出 すゴミの削減(資源 ごみを除く)	570.6		836	g/ 人日	マンション事業所(飲食店、店舗)の増加が影響していると考えられる。 ごみの減量化やリサイクルに対する住民の理解を深めるために周知を行っていく。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
	住民生活課	C	6	住民の意識の問題			意識の向上につながるような啓発を行っていく。
Action	方向性	住民生活課	◎				

基本目標 7 未来のための環境をまもろう

2 循環型社会の形成

(3) し尿適正処理の推進						
Plan	取組の概要		* 下水道事業との整合性に留意しながら、し尿処理事業の合理化事業計画に基づき、今後とも広域的なし尿処理体制のもと、適正な処理を推進します。			
	担当課		住民生活課			
Do	実績	課名	取組内容			
		住民生活課	水洗化が進み、し尿処理はゼロではないが、ごく少ない。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		住民生活課	—	—	—	—
Action	方向性	住民生活課	◎	施策の上げ方として、他の項目に含めるなど、検討が必要である。		

基本目標 7 未来のための環境をまもろう

2 循環型社会の形成

Plan								
(4) 地球温暖化防止対策の推進								
取組の概要		<p>* 地球温暖化の主な原因とされる二酸化炭素の排出を抑えるための資源循環の取り組みとして、廃食用油を利用したバイオディーゼル燃料づくりに対する支援を行います。</p> <p>* 二酸化炭素を排出する化石燃料への依存を減らすため、太陽光発電や太陽熱利用など自然エネルギーの活用を啓発・促進します。</p> <p>* 住宅への植物の植栽、緑のカーテンの設置など家庭・職場でできる取り組みについても啓発し、住民・事業者・行政の協働によるエコライフの推進を図ります。</p>						
担当課		住民生活課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		住民生活課	【第4次計画】 太陽光発電の設置促進(公共)	3	H25年度 6	6	力所	当初の目標達成している。
		総務課	【第4次計画】 ハイブリット公用車の増加 公用自動車の活用	1	H25年度 3	3	台	当初の目標達成している。
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C、Dの場合どうすればできるようになるか)	
		住民生活課	A	—			—	
Action	方向性	住民生活課	◎					

8 計画推進のために

1 情報公開と住民参画の推進

Plan		(1) 情報公開の推進						
		取組の概要	* 住民と行政が協働で取り組む開かれたまちづくりをめざすため、すべての仕事は公開されるという意識のもとに行政を進め、積極的な情報公開の推進を図ります。 * 情報公開にあたっては、住民にわかりやすい方法や内容を工夫するとともに、個人情報の適正な保護に努めます。					
Do		担当課	総務課 企画振興課					
		実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位
Do		総務課	【行政懇談会の実施】 各字区長、区役員の方にお集まりいただき、行政に関する質問、要望に対する回答を行っている。区役員の方役場管理職の職員が一同に介す機会にて住民と行政が協働で取り組む開かれた場となっている。					
		課名	取組内容					
		企画振興課	【第4次計画】 ホームページへのアクセス数の増加	16	H25年度 33	27	万件/年	本町ホームページへのアクセス数。
Check		課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		達成状況	総務課	A	—	住民の方が抱える不安への回答、また町としての今後の方向性などについて回答を行う場があることで、積極的な仕事の公開の場となっている。また、会議実施後には議事録を作成し、町発行の広報誌に載せるなど、広く町民の皆様に確認出来る体制の構築を行っている。		
		企画振興課	B	1	さらにより見やすく、利用しやすいホームページになっているか見直す。			
Action		方向性	総務課	◎				
		企画振興課	◎	第4次総合計画の後期目標値40万件に及んでいない。 今後ともホームページの内容を充実させられるために工夫をしていきたい。				

8 計画推進のために

1 情報公開と住民参画の推進

(2) 広報広聴活動の充実					
Plan	取組の概要	* 町政やまちづくりに関するきめ細かい情報提供を充実するため、広報紙や町ホームページなどによる広報活動の充実を図ります。 * 住民ニーズの把握に努めるため、行政懇談会をはじめ様々な手法による広聴活動の充実を図ります。			
	担当課	企画振興課			
Do	実績	課名	取組内容		
		企画振興課	毎月発行している定例号以外でも、ピックアップして取り上げたいもの（中学生議会、行政懇談会など）を別冊等で発行した。 特集の掲載（特集号、特別号発行回数）実績：平成19年度5回、平成26年度4回、平成29年度5回。		
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果) (C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		企画振興課	B	—	毎年、特集号や特別号は発行し、情報提供できている。定例号の中では特集と言えるものはほとんど組めていない。
Action	方向性	企画振興課	◎	別冊号や特集号は恒例化しつつある。今後は別途、定例号の中で、まちの話題などで特集を組むなど考えていった方が見やすく、親しみやすい広報紙になるのではないかと。	

8 計画推進のために

1 情報公開と住民参画の推進

(3) 多様な住民参画の場づくり								
Plan	取組の概要		* まちづくりに関わる計画づくりの段階において、各種審議会やパブリックコメントの実施などを進め、はばひろい住民が参画できる機会を整備します。 * まちづくりに関わる事業実施の段階において、自治会やNPOなど住民が主体的に取り組む協働事業の推進を支援します。					
	担当課		企画振興課					
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		企画振興課	【第4次計画】 パブリックコメント の拡大	2	1	2	件/ 年	広報紙、ホームページ等によるパブリックコメントの件数。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		企画振興課	C	6	パブリックコメントを実施して住民から意見を求めるような事例が少なかった。	必要に応じて行うべきであり、適切に実施されているかが重要。		
Action	方向性	企画振興課	◎	必要なものは今後とも、広報紙、ホームページで実施。評価指標としては、1件あたりのパブリックコメントに対する意見の数等、見直す必要はあると考える。				

8 計画推進のために

2 効率的で健全な行財政運営の推進

(1) 社会情勢や行政ニーズの変化に対応できる組織の運営								
Plan	取組の概要	* 少子高齢化、高度情報化などの社会経済情勢や、住民ニーズの複雑化・多様化などに弾力的に対応し、効率的な住民サービスの提供を図ります。 * 地方分権の進展に伴い市町が行う行政事務の範囲が広がることをふまえ、新たな行政課題に積極的に取り組み、組織や事務の効率化を図るとともに、より効果的な行政サービスを提供できる組織運営に努めます。						
	担当課	総務課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		総務課	【第4次計画】 定員適正化の推進 (職員数)	85	H25年度 91	96	人	職員の専門性がますます問われるとともに、権限移譲等により事務が増大している。また専門職の採用を行っており、今後職員数の増加が見込まれる。
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		総務課	C	6	事業の見直しが図れていないため、一人あたりの事務量が増加していると思われる。		事業の費用対効果を検証し、定期的に見直すことが必要。また、各課の事業量を把握するとともに、必要な数の職員数が配置できるよう行っていく。	
Action	方向性	総務課	◎	定員適正化計画の見直しが必要である。				

8 計画推進のために

2 効率的で健全な行財政運営の推進

(2) 地方分権化に対応できる人材の育成						
Plan	取組の概要		<p>* 社会経済情勢の変化に対応すべき行政需要の範囲や業務内容等を見極めながら、職員の適正な配置、適切な範囲での民間委託の推進、地域協働の取り組みなどを進め、極力職員数の抑制に努めます。</p> <p>* 各職員が危機意識を共有し行政改革の必要性を認識する中で、地方分権時代のもと、専門的かつ高度な行政ニーズに対応できるよう、政策形成能力の向上をはじめ職員の人材育成を計画的に進めます。</p>			
	担当課		総務課			
Do	課名		取組内容			
	実績 総務課		<p>職員研修参加者数：平成29年度263人。</p> <p>①人事評価制度研修80名 ②コンプライアンス研修41名 ③ディベート研修16名 ④認知症キャラバンメイト126名</p> <p>研修毎に正規職員対象また臨時・嘱託を含む全職員対象などの違いで人数の違いがあるが対象となる職員は概ね受講をしている。</p>			
Check	課名		達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
	達成状況 総務課		B	—	<p>・毎年度内容を変更して実施をしているが全ての職員が出席出来るかといえば出来ていない。日程調整の段取り、また研修を実施する委託先との調整など苦慮することもあるが、事前に研修実施要項を作成する取組等で8割から9割の受講が達成できた。</p> <p>・研修受講することで窓口業務などで、自分が正しいと思っていたことでも間違っていることが分かったというような一定の気づき業務の改善などに役立った部分がアンケートで回答があった。</p>	
Action	方向性	総務課	◎			

8 計画推進のために

2 効率的で健全な行財政運営の推進

(3) 効率的な行政運営の推進						
Plan	取組の概要		<p>* 厳しい財政状況のもと、複雑化・多様化する住民ニーズに迅速かつ的確に対応するためには、限りある人員や財源を有効に活用できる行政システムが必要です。このため、事業成果の評価に基づいて事務事業の合理化を進めるなど行政評価システムの構築を図り、成果重視の行政運営を推進します。</p> <p>* 住民への説明責任の観点から、行政評価の内容について情報公開を進めます。</p>			
	担当課		総務課			
Do	実績	課名	取組内容			
		総務課	行政評価システムの一環として、限りある人員の中で最大限の成果を残せるよう、人事評価制度を導入し、職員が業務に関して一定の目標を設定し、その目標に向けてどれだけの成果が出たか管理職評価のもと実施を行っている。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C、Dの場合どうすればできるようになるか)
		総務課	B	—	職員の目標が明確なすること、また業務を確認することにより適正に業務が執行されているか課内全体を通して確認することができ、事務事業の合理化の進展になっている。	
Action	方向性	総務課	◎			

8 計画推進のために

2 効率的で健全な行財政運営の推進

Plan								
(4) 健全な財政運営の推進								
取組の概要		<p>* 中長期的な財政見通しのもとに、的確な財政分析と予算編成などに関する情報公開を進め、わかりやすく透明性の高い財政運営を進めます。</p> <p>* 地方分権に対応できる財政基盤を強化するため、住民と行政の協働によるまちづくりをめざしながら、中長期的な視点から徹底した歳出抑制と自主財源の確保を図るほか、町税収納率の向上、受益者負担の原則に基づく使用料・手数料等の見直しに努め、限られた財源を効果的に配分することで財政の健全化を図ります。</p>						
担当課		総務課						
Do	実績	課名	評価指標	平成19年度 (第4次計画 基準値)	総合戦略 基準値 (H26年 度)	H29年度 (現状)	単位	説明
		総務課	【第4次計画】 経常収支比率の改善	94.7	84.5	96.9	%	交付税の減少、各保険事業に係る経常的な繰出の増加および公債費の増加により、経常収支比率が悪化した。
Check	達成 状況	課名	達成状況	C、Dの 理由	コメント (A、Bの場合はその成果)		(C,Dの場合どうすればできるようになるか)	
		総務課	D	4	交付税の減少、経常的支出の増加が主な原因と考えられる。			平成34年度を目途に公債費が増加しているため、それまでは、経常的支出を抑えられるように努力する必要がある。
Action	方向性	総務課	◎	経常収支比率は自治体の財政状況をみる上で、重要な指標となってくる。経常収支比率の改善に向けて、今後も経常的支出の抑制、地方税の収入増に努力していく必要がある。				

8 計画推進のために

2 効率的で健全な行財政運営の推進

(5) 町有財産の適正な管理運営						
Plan	取組の概要		* 施設については、指定管理者制度の導入により、効率的・合理的な運営を図り、住民サービスの向上に努めます。 * 公有財産の適正な管理を図るとともに、遊休財産の有効活用を図ります。			
	担当課		総務課			
Do	実績	課名	取組内容			
		総務課	指定管理件数：平成29年3件。 先人を偲ぶ館、豊郷スポーツ公園、豊郷駅コミュニティ施設を指定管理している。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		総務課	B	—	指定管理を行うことにより、地域に密着したサービスを提供できているのではないかと思われるが、他の公共施設も指定管理できないか議論が必要だと考える。 もっとも大きい遊休財産であった、と畜場跡地については、平成29年度に売却したところである。	
Action	方向性	総務課	◎			

8 計画推進のために

3 広域連携の推進

（1）広域行政の推進						
Plan	取組の概要		* 広域市町村圏協議会や一部事務組合をはじめ広域団体等とも連携を強化し、広域的な取り組みが有効な分野について広域事業の推進に努めます。 * 広域連合制度などの広域事業制度などについても、その活用を検討していきます。			
	担当課		全庁			
Do	実績	課名	取組内容			
		企画振興課	平成21年10月に1市4町が定住自立圏の協定を締結し、各分野で連携して事業を行っている。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		企画振興課	B	—		
Action	方向性	企画振興課	◎	適宜協定や共生ビジョンを見直しつつ、取組を進めていく。		

8 計画推進のために

3 広域連携の推進

		(2) 広域的対応の推進				
Plan	取組の概要	<p>* 様々に実施されている観光、イベントなどの事業について、周辺市町の共同で進めることによって最少の経費で最大の効果をあげるよう努めます。</p> <p>* 国、県等との連携を強化し、必要な施策事業については、その実施や支援を要望していきます。</p> <p>* 1市4町による定住自立圏構想の推進を図り、広域圏域を形成することにより分権型社会に対応していきます。</p>				
	担当課	全庁				
Do	実績	課名	取組内容			
		産業振興課	びわこ湖東路観光協議会で事業を実施したほか、県が主導となって行なう観光キャンペーン事業に参加する。			
		人権政策課	彦根、犬上、滋賀県で人権活動の連携を取り組んでいる。			
		税務課	滋賀県共同設置事業として、滋賀県と愛犬4町により、滋賀県の湖東土木事務所内において、徴収対策として豊郷町からも1名派遣している。			
Check	達成状況	課名	達成状況	C、Dの理由	コメント (A、Bの場合はその成果)	(C,Dの場合どうすればできるようになるか)
		産業振興課	B	—	びわこ湖東路観光協議会で実施しているレンタサイクル「めぐりんこ」を活用したスタンプラリーイベントを実施した。また、定住では県外の中学校の修学旅行で農家に宿泊し農作業体験を行う、民泊事業を共同で行い、受け入れをお願いした。また、県主導の県外から観光客を誘致する「大型観光キャンペーン」に参加し、誘客を行った。	
		人権政策課	B	—	連携事業として、人権活動事業を彦根犬上で取り組んでいる。その他で広域事業を取り組み計画はなく、成果評価をBとした。	
		税務課	A	—	滋賀県と愛犬4町により、滋賀県の湖東土木事務所内において、徴収対策として豊郷町からも1名派遣しており、現在徴収率については、現年度については99%を超えており、現年度と過年度の合計についても96%を超えている。この水準を維持していくために、今後についても同事業については継続していく必要がある。	
Action	方向性	税務課	◎			
		産業振興課	◎			
		人権政策課	△	広域事業としての計画はなく、成果チェックが難しい。具体的な取り組みを明確にすべきと考える。		